

7 市町のスマート自治体化に向けた支援について

1 現状と課題

(1) 現状

県内における人口減少が進む中、自治体職員の労働力不足が今後益々深刻になることは明白であり、既存の業務の在り方を大胆に再構築することは喫緊の課題です。そのため、全国的には多くの自治体において、最新のICT技術(RPA(Robotic Process Automation, ロボットによる業務自動化)とAI(人工知能))を活用し、より効率的・生産的な自治体経営を目指すスマート自治体の実現に向けた取り組みが始まっています。

(2) 課題・問題点

ICT技術(RPAやAI)は専門性の高い分野であり、単独では導入に踏み切ることが困難な市町も多いため、三重県全体でスマート自治体化を進めていくためには、技術内容や導入課題・効果、先進事例について県と市町が一体となって研究を重ねつつ、効果検証等を行い、導入効果を把握する必要があります。

2 令和元年度における取組内容

市町がスマート自治体化を進める上での課題等を共有しながら協議・研究を進め、県全体でスマート自治体化が進むように気運の醸成を図りました。また、RPAを効果的に導入できるよう、業務の可視化や評価・分析の手法を明らかにしたうえで、RPAの導入効果を検証しました。

(1) スマート自治体推進検討会議の運営

県と市町の地域づくり連携・協働協議会を活用し、RPAやAIの導入に向けた基本知識や効果性等についての認識を高められるよう、県と市町での研究・研修会を年3回開催し、職員同士のネットワーク化にも貢献しました。

① 第1回目 5月28日(火)開催

○ テーマ：つくば市のRPA導入における先進事例紹介 等

② 第2回目 7月11日(木)開催

○ テーマ：AI導入における先進事例紹介 等

③ 第3回目 10月23日(水)開催

○ テーマ：京都府におけるRPA・AIの導入事例紹介 等

※第4回目を3月16日(月)に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染リスクを勘案し、中止としました。

(2) 業務可視化等モデル事業及びRPA導入マニュアルの作成

伊賀市と大台町にモデル団体として協力を仰ぎ、業務の可視化や評価・分析の手法を取りまとめるとともに、RPAの導入効果について検証を行いました。

また、他市町においてもRPA導入の際の参考となるよう、モデル事業の過程や結果を基に、マニュアルを作成しているところです。

① 伊賀市のRPA導入効果

○ 検証内容

軽自動車の所有開始、廃車の際に住民から提出される申請書情報を既存システムに入力する作業をRPAで自動化しました。

○ 年間推定効果

導入前には450時間かけていた入力作業を342時間削減(76%減)することができ、RPAを導入することで職員負担の軽減に繋がることが分かりました。

② 大台町のRPA導入効果

○ 検証内容

肺がん検診の検診結果を既存システムに入力する作業をRPAで自動化しました。

○ 年間推定効果

導入前には101時間かけていた入力作業を83時間削減(82%減)することができ、RPAを導入することで職員負担の軽減に繋がることが分かりました。

3 今後の取組について

(1) スマート自治体推進検討会議の運営

県内市町におけるスマート自治体のさらなる促進を図るため、令和元年度に引き続き、県と市町が一体となってRPAやAI等の導入に係る課題共有や先進事例の研究、県内取組成果の共有等を進める検討会議を運営します。

(2) RPA人材育成支援事業

今年度のRPAの導入効果検証の結果、適切な業務に導入することで、業務時間の削減が可能となり、職員の負担軽減に繋がることが分かりましたが、RPAを庁内展開していくためには、操作を習得した人材や有効性を理解し、他業務にも展開・提案できる人材が一定数必要です。そのため、令和2年度において、今年度作成したマニュアルを活用して導入を検討してもらうとともに、研修等人材育成の支援を行い、人材面から市町でのRPAの本格導入を後押しします。

(3) Society5.0を見据えたAI活用実証事業

AI技術の活用については一部実用化されており今後もさまざまな行政課題への活用が進むと考えられるため、令和2年度においては、市町が抱える行政課題の解決を図る実証事業等を複数市町と連携して行います。

こうしたスマート自治体にかかる市町支援の業務については、生産性の向上と正確性の確保を向上させた取組を県と市町がより一体となって進めるため、来年度から新たに総務部に設置する「スマート改革推進課」に移管し、効果的に取り組んでいくこととしています。

1. 市町のスマート自治体化に向けた支援

背景

生産年齢人口減少による労働力の供給制約

⇒ 2040年頃には従来よりも少ない職員数で機能を維持できるよう自治体の体制づくりが必要

Society 5.0の到来

⇒ 最新技術を行政運営に取り入れていく気運の情勢や組織体制が必要

目指すべき姿 = スマート自治体の実現

スマート自治体とは、行政事務にICT等の最新技術を取り入れ、より効率的・生産的な行政運営を目指すもの

- ◆ RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション:パソコン上の単純作業の自動化)やAI(人工知能)の活用
- ◆ 最新技術の導入と並行して、業務プロセスを見直す「業務改善」を実施
 - ⇒ 職員の業務負担を軽減し、人間にしかできない業務に人的資源を集中させることが可能に
 - ⇒ AI技術(例:チャットボットにより24時間住民からの問い合わせに対応)による住民サービスの向上

R1年度取組内容

①スマート自治体推進検討会議

～市町と県が共同でスマート自治体の推進を議論～

- ・最新技術の動向について勉強するとともに、県と市町が相互の取組を共有する場として、令和元年度は3回開催。職員同士のネットワーク化にも貢献。
- ・令和2年度においても検討会議を設け、引き続き三重県全体でスマート自治体を目指す。

②業務可視化等モデル事業

伊賀市と大台町にモデル団体として協力を仰ぎ、RPAを効果的に導入するための業務の可視化や評価・分析の手法を取りまとめるとともに、RPAの導入効果検証を実施。

【RPA導入の効果検証】

- ◆ 伊賀市: 軽自動車税の取得申請、廃車申請業務へRPA導入
- ◆ 大台町: 肺がん検診業務へRPA導入

③RPA導入マニュアルの作成

モデル事業の結果を基に、県内市町におけるRPA導入につながるよう、マニュアルを作成。

2. RPA導入の効果検証結果

1. 伊賀市RPA導入効果検証の結果

軽自動車税業務: うち、軽自動車の所有開始、廃車の際に住民から提出される申請情報をシステムに入力する作業

検証内容

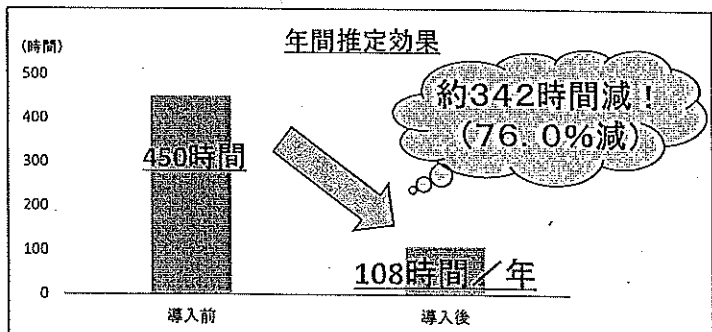
申請書の受領作業に関する業務のうち、申請書情報をシステムに入力する作業領域をRPAで自動化

検証結果

RPAの活用は業務負担軽減に一定効果あり

さらに! RPA本格導入に向けて業務フローを改善することで

更なる削減効果が期待!!



2. 大台町RPA導入効果検証の結果

肺がん検診業務: うち、肺がん検診の検診結果情報をシステムに入力する作業

検証内容

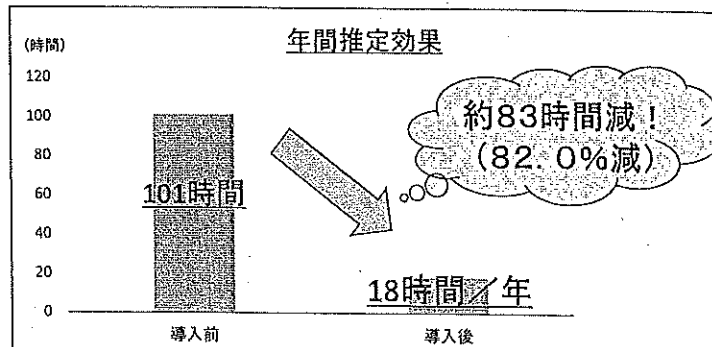
肺がん検診対象者が受信した検診結果が各病院等から送付され、その情報をシステムに入力する作業領域をRPAで自動化

検証結果

RPAの活用は業務負担軽減に一定効果あり

さらに! RPA本格導入に向けて業務フローを改善することで

更なる削減効果が期待!!



8 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの取組について

1 経緯

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、県では聖火リレーや事前キャンプ地誘致に取り組むことにより、多くの県民の皆さんがスポーツに参画（する・みる・支える）するための機運醸成を図ることとしています。

県内の子どもたちをはじめ多くの皆さんが、聖火リレーの実施や事前キャンプでの交流に「オール三重」で何らかの形で参画いただくことにより、来たる東京 2020 大会への期待はもとより、開催を翌年に控えた「三重とこわか国体・三重とこわか大会」の成功につなげていきたいと考えています。

2 現在の取組状況

(1) オリンピック聖火リレー（県内実施：4月8日～9日）

本県のオリンピック聖火リレーの実施内容については、「多様性」と「未来への継承」を基本コンセプトとして三重県実行委員会において検討しており、ルートとならなかった市町も含めた全 29 市町の皆様のご協力により運営準備を進めているところです。

県内ルートについては、本県の自然や歴史的遺産・伝統文化等、各地域の多様な魅力を国内外に発信することを基本的な考え方として、12 市町の区間を選定しました。

また、ランナーについては、障がいの有無、年齢、性別などのバランスに配慮しながら多様な地域・分野から選定することを基本的な考え方として、県内全市町から1名ずつの公募枠ランナー（29 名）と、県内出身の著名人・アスリートや功労者等による推薦枠ランナー（24 名）を選定しました。

現在、出発式やセレブレーション等のセレモニーや、沿道での応援等について、各市町からいただいたご提案・ご要望に基づき、地域の魅力を発信するための企画内容を検討しています。

なお、現在、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されているところですが、本県の聖火リレーについては、東京 2020 組織委員会が定める実施方針に従い、万全な感染予防対策を講じながら運営準備を進めます。

(2) パラリンピック聖火フェスティバル（県内実施：8月13日～16日）

パラリンピック聖火リレーは、開催都市（東京都）およびパラ競技開催3県においてはトーチで聖火をつなぐリレーが実施されますが、他の 43 道府県についてはリレー方式ではなく、「採火」など火にまつわるイベント（聖火フェスティバル）を各市町で実施することとなっています。

本県では、県内全 29 市町が「採火」を実施した後、それらを1つに「集火」し、東京に向けた火の「出立」（県内集火・出立式）を行います。

(3) 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致

県では、昨年4月にカナダアーティスティックスイミングチーム、10月にカナダレスリングチーム、本年1月に英国パラスイミングチームの事前キャンプを受け入れました。事前キャンプ中、関係市町と連携し、各チームに対して充実した練習環境や食事等を提供したほか、県内ジュニア選手との合同練習や学校訪問など、県民の皆さんとの交流・歓迎事業を実施しました。

カナダの両チームからは「三重県のジュニア選手は非常に熱心だ」「ベジタリアンや食材アレルギーへのメニューの工夫に感謝している」など、また英国パラチームからは「ロボット型スーツの装着体験に感銘を受けた」「救急医療体制がしっかりしていて安心した」などの評価をいただきました。

これらのほか、四日市市、伊勢市、志摩市においても、事前キャンプ地誘致が決定しており、県の事前キャンプ受け入れ状況や課題を情報提供するなど、当該市町と連携を図っています。

3 今後の取組

オリンピック聖火リレーについては、「オール三重」で盛り上げ、より充実したものとなるよう、セレモニーの企画内容について検討するとともに、安全確実に実施するために、交通規制・警備等の準備を進めていきます。また、これらの取組について、県民の皆さんに十分周知されるよう、積極的に事前広報を行います。

パラリンピック聖火フェスティバルに関し、各市町においては「採火」の具体的な実施方法について、県においては「県内集火・出立式」の詳細について、検討を進めていきます。

また、事前キャンプ地誘致については、本年度の事前キャンプを通して把握した課題をふまえ、さらに各チームに満足してもらえよう東京2020大会直前キャンプの受け入れ準備を進めます。

4 東京2020大会のレガシーを三重とこわか国体・三重とこわか大会へ

東京2020大会で盛り上がった機運はもちろんのこと、聖火リレー（フェスティバル）の取組で培われたスタッフ・ボランティア等の経験や安全・安心なイベント運営のためのノウハウ、事前キャンプでの交流により育まれた人材や本県ならではの心のこもったおもてなしなど、さまざまなレガシーを三重とこわか国体・三重とこわか大会に受け継ぎ、両大会の成功につなげます。

そして、それらのレガシーを次世代に長く継承していくことにより、スポーツを通じた「県民力を結集した元気な三重づくり」をめざしていきます。

参考1 オリンピック聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーの三重県ルート（通過市町及び主な実施場所）が次のとおり決定しました。なお、本県では2020年4月8日（水）、4月9日（木）の2日間実施します。

(1) 三重県内ルート

4月9日(木) スタート

①伊賀市

S: 伊賀上野城（出発式）
G: 伊賀市役所

②名張市（特殊区間）

S: 赤目四十八滝 不動滝
G: 赤目四十八滝キャンプ場

③松阪市

S: 松坂城跡（ミニセレブレーション）
G: 松阪駅南口前
*御城番屋敷、旧小津清左衛門家（旧：松阪商人の館）前経由

④大紀町

S: 瀧原宮前
G: 大紀町役場

⑤紀北町（特殊区間）

S: 馬越峠登り口
G: 馬越峠 夜立き地藏前

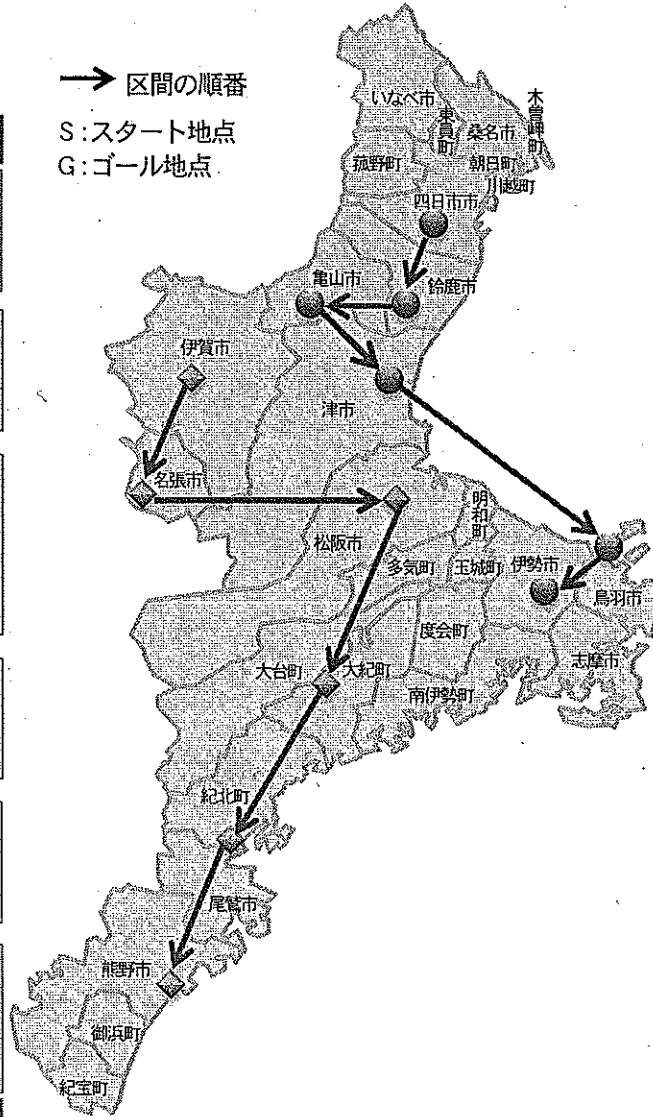
⑥熊野市

S: 熊野市駅前
G: 山崎運動公園（セレブレーション）
*花の窟神社前経由

4月9日(木) ゴール

→ 区間の順番

S: スタート地点
G: ゴール地点



4月8日(水) スタート

①四日市市

S: 四日市公署と環境未来館前（出発式）
G: 四日市市役所

②鈴鹿市

S: 鈴鹿青少年の森
G: 鈴鹿スポーツガーデン
*鈴鹿サーキット経由

③亀山市

S: 関宿（東の追分）
G: 関宿（西の追分）

④津市

S: サオリーナ（ミニセレブレーション）
G: 三重県庁

⑤鳥羽市（特殊区間）

S: 佐田浜東公園
G: 谷志海女小屋前
*鳥羽市営定期船

⑥伊勢市

S: 伊勢神宮外宮前
G: 三重県総合競技場（セレブレーション）
*宇治橋前、おばらい町経由

4月8日(水) ゴール

(2) セレモニー 日程と会場

| 日程 | 出発式 | ミニセレブレーション | セレブレーション |
|---------|-------------|------------|-------------|
| 4月8日(水) | 四日市市(市民公園前) | 津市(サオリーナ) | 伊勢市(総合競技場) |
| 4月9日(木) | 伊賀市(伊賀上野城) | 松阪市(松坂城跡) | 熊野市(山崎運動公園) |

(3) 都道府県実施日一覧

| | | | | | |
|----|------|-----------------------------|----|------|-----------------------------|
| 1 | 福島県 | 2020年3月26日(木)~2020年3月28日(土) | 25 | 広島県 | 2020年5月18日(月)~2020年5月19日(火) |
| 2 | 栃木県 | 2020年3月29日(日)~2020年3月30日(月) | 26 | 岡山県 | 2020年5月20日(水)~2020年5月21日(木) |
| 3 | 群馬県 | 2020年3月31日(火)~2020年4月1日(水) | 27 | 鳥取県 | 2020年5月22日(金)~2020年5月23日(土) |
| 4 | 長野県 | 2020年4月2日(木)~2020年4月3日(金) | 28 | 兵庫県 | 2020年5月24日(日)~2020年5月25日(月) |
| 5 | 岐阜県 | 2020年4月4日(土)~2020年4月5日(日) | 29 | 京都府 | 2020年5月26日(火)~2020年5月27日(水) |
| 6 | 愛知県 | 2020年4月6日(月)~2020年4月7日(火) | 30 | 滋賀県 | 2020年5月28日(木)~2020年5月29日(金) |
| 7 | 三重県 | 2020年4月8日(水)~2020年4月9日(木) | 31 | 福井県 | 2020年5月30日(土)~2020年5月31日(日) |
| 8 | 和歌山県 | 2020年4月10日(金)~2020年4月11日(土) | 32 | 石川県 | 2020年6月1日(月)~2020年6月2日(火) |
| 9 | 奈良県 | 2020年4月12日(日)~2020年4月13日(月) | 33 | 富山県 | 2020年6月3日(水)~2020年6月4日(木) |
| 10 | 大阪府 | 2020年4月14日(火)~2020年4月15日(水) | 34 | 新潟県 | 2020年6月5日(金)~2020年6月6日(土) |
| 11 | 徳島県 | 2020年4月16日(木)~2020年4月17日(金) | 35 | 山形県 | 2020年6月7日(日)~2020年6月8日(月) |
| 12 | 香川県 | 2020年4月18日(土)~2020年4月19日(日) | 36 | 秋田県 | 2020年6月9日(火)~2020年6月10日(水) |
| 13 | 高知県 | 2020年4月20日(月)~2020年4月21日(火) | 37 | 青森県 | 2020年6月11日(木)~2020年6月12日(金) |
| 14 | 愛媛県 | 2020年4月22日(水)~2020年4月23日(木) | 38 | 北海道 | 2020年6月14日(日)~2020年6月15日(月) |
| 15 | 大分県 | 2020年4月24日(金)~2020年4月25日(土) | 39 | 岩手県 | 2020年6月17日(水)~2020年6月19日(金) |
| 16 | 宮崎県 | 2020年4月26日(日)~2020年4月27日(月) | 40 | 宮城県 | 2020年6月20日(土)~2020年6月22日(月) |
| 17 | 鹿児島県 | 2020年4月28日(火)~2020年4月29日(水) | 41 | 静岡県 | 2020年6月24日(水)~2020年6月26日(金) |
| 18 | 沖縄県 | 2020年5月2日(土)~2020年5月3日(日) | 42 | 山梨県 | 2020年6月27日(土)~2020年6月28日(日) |
| 19 | 熊本県 | 2020年5月6日(水)~2020年5月7日(木) | 43 | 神奈川県 | 2020年6月29日(月)~2020年7月1日(水) |
| 20 | 長崎県 | 2020年5月8日(金)~2020年5月9日(土) | 44 | 千葉県 | 2020年7月2日(木)~2020年7月4日(土) |
| 21 | 佐賀県 | 2020年5月10日(日)~2020年5月11日(月) | 45 | 茨城県 | 2020年7月5日(日)~2020年7月6日(月) |
| 22 | 福岡県 | 2020年5月12日(火)~2020年5月13日(水) | 46 | 埼玉県 | 2020年7月7日(火)~2020年7月9日(木) |
| 23 | 山口県 | 2020年5月14日(木)~2020年5月15日(金) | 47 | 東京都 | 2020年7月10日(金)~2020年7月24日(金) |
| 24 | 島根県 | 2020年5月16日(土)~2020年5月17日(日) | | | |

参考2 パラリンピック聖火フェスティバル

「採火」「県内集火・出立式」 日程と会場

| | 日程 | 会場 |
|----------|----------------|-------------|
| 採火 | 8月13(木)～16日(日) | 各市町内 |
| 県内集火・出立式 | 8月16日(日) | 三重県総合文化センター |

参考3 オリンピック・パラリンピック事前キャンプの実施予定

| | 市町名等 (誘致主体) | 相手国 | 競技 |
|---|----------------|------|-------------------------|
| 1 | 四日市市 | カナダ | 体操(オリンピック) |
| 2 | 三重県 | カナダ | アーティスティックスイミング(オリンピック) |
| 3 | 三重県 | 英国 | 競泳(パラリンピック) |
| 4 | 三重県・津市 | カナダ | レスリング(オリンピック) |
| 5 | 伊勢市 | ラオス | 陸上競技(パラリンピック) |
| 6 | 志摩市 | スペイン | トライアスロン(オリンピック・パラリンピック) |

9 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備について

三重とこわか国体（第76回国民体育大会）・三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）の開催に向けては、市町や競技団体など関係者の協力等を得ながら、万全な準備に取り組んでいます。

1 三重とこわか国体・三重とこわか大会の機運醸成について

(1) 広報・とこわか運動（県民運動）の展開

県民の皆さんの参加につなげるために普及してきた「とこわかダンス」は、県内全域に広がってきています。今後、「とこわかダンスコンテスト」を実施し、入賞者に開・閉会式等に出演いただくなど、「とこわかダンス」の盛り上がりを両大会につなげます。

平成30年9月から実施している「とこわか運動」については、「とこわかダンス」への取組やPRへの協力などを中心に、2月29日現在385件の登録をいただいているところです。開催1年前となる令和2年度は、とこまるを生かした商品化、クリーンアップ活動などの取組が活発に行われるよう働きかけていきます。

さらに、東京2020大会で高まったスポーツへの関心が両大会につながるよう、500日前、300日前などの節目を生かしたイベントなどを活用しながら、アスリートの活躍やボランティア募集などの情報を積極的に発信していきます。

(2) 三重とこわか大会プレイベントの実施

三重とこわか大会の関心を高めるとともに、県民力を結集した大会へとつなげるため、三重とこわか大会から新しく正式競技となるボッチャの交流大会「三重とこわかボッチャ杯」を令和2年度に開催します。交流大会は、3人1組のチーム対抗とし、単独でのチーム参加を募るほか、地域や企業のボッチャ大会を予選会と兼ねて開催していただくなど、大会への参加を広く呼びかけ、県民運動としての参画を促します。

また、三重とこわか大会において誰もが楽しめる情報環境を整備するため、本交流大会において、ICTを活用した支援ツールの実証実験を行い、導入に向けた課題や効果を検証します。

2 開・閉会式の準備について

(1) 式典

両大会の開・閉会式の式典については、平成30年度に策定した「式典基本計画」に基づき、今年度は、式典運営、演技、音楽、炬火等、分野毎の内容をまとめた「式典実施計画」を策定しています。

具体的には、県内外から訪れる選手等に三重の魅力を発信し、おもてなしの心を伝える演技プログラムや式典音楽の検討を行うとともに、選手の負担軽減や簡素・効率化を図るため、式典時間の短縮や参加者の構成・規模、天候不良時の対応等を検討しており、今年度末に式典実施計画としてまとめていきます。

また、両大会の期間中、選手を見守る炬火について、トーチと受皿のデザインを検討しています。

今後は、演技プログラムの詳細な演出の検討や新規楽曲の制作等を行うとともに、式典を円滑に開催するための運営方法の検討、炬火トーチや受皿等の制作を進め、簡素でありながらも、記憶に残る式典の開催に向けて準備を進めていきます。

(2) 会場整備

今年度においては、開・閉会式会場（三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場）における仮設物の配置や参加者動線等にかかる基本設計に取り組んでおり、令和2年度は、この設計をより具体化、詳細化するため、引き続き、伊勢市や県警、競技団体、施設管理者等と調整を行いながら、実施設計に取り組みます。

(3) 来場者管理

両大会の開・閉会式の来場者募集、受付、配席などを正確かつ円滑に行うため、来場者管理システムの開発・運用を行います。令和2年度にシステムの開発を行い、令和3年度には運用を開始し、来場者募集などを行う予定です。

(4) 警備

両大会の開・閉会式では、参加者の安全・安心のため、入場管理、車両規制、行幸啓対応など、会場各所でさまざまな警備が必要であることから、先催県では、「参加者誘導や雑踏対応」、「規制区域の設定」、「セキュリティのための本人確認」、「金属探知機による持込物のチェック」、「緊急車両のルート確保」等が行われています。

本県においても警備対応を万全に行えるよう、令和2年度においては、県警等関係者と相談しながら、警備計画の策定等を行います。

3 競技会の運営について

(1) 市町への支援

①競技別リハーサル大会補助金

三重とこわか国体の円滑な開催準備・運営に資するため、各競技の会場地市町が実施する競技別リハーサル大会の運営経費に対して補助を行います。補助は大会の開催に必要な競技役員の交通費や競技用具借上料、仮設費等を補助対象とし、補助率は1/2以内となります。なお本県では、令和2年度から令和3年度にかけて、33競技41種目でリハーサル大会が実施される予定です。

②市町競技施設整備費補助金

市町競技施設整備費補助金では、各会場地市町の整備計画や要望額等をヒアリングしながら、各競技施設の整備に向けて必要とされる支援を行っています。（令和2年度は10市町への補助を予定）

(2) 競技役員養成

（三重とこわか国体）

平成26年度から、競技の運営に必要な審判員等の有資格者を養成・確保するため、競技役員養成事業を実施しています。本取組により養成目標人数3,310人に対して、平成30年度末現在で約2,700人を確保しており、引き続き、計画的に事業を推進するとともに、開催年が迫るなか、各競技において必要となる役員が確実に養成・確保できるよう取り組みます。

なお、本取組で養成された競技役員については、国体後において、地域スポーツの振興や各競技の普及・促進に繋がるものとなります。

(三重とこわか大会)

車いすバスケットボールやボッチャなど全国障害者スポーツ大会特有の6競技において、審判員235人を養成・確保するため、平成29年度から競技役員等養成事業を実施し、平成30年度末で125人を確保しています。また、全競技の競技運営主管団体を対象として、障がいに対する理解や全国障害者スポーツ大会特有のルールに関する研修等を実施しています。

今後も引き続き、計画的な審判員の養成・確保に取り組むとともに、円滑な競技運営ができるよう競技役員のスキル向上を図っていきます。

4 開・閉会式及び競技会を通じた取組について

(1) 宿泊

今年度は、宿泊施設を対象に説明会を開催し、両大会への協力を依頼するとともに、宿泊施設を訪問して客室提供を依頼し、必要な客室の確保に向け取り組んでいるところです。令和2年度も引き続き宿泊施設への訪問等を行い、客室の確保を進めるとともに、各会場地市町と連携を図り配宿計画を作成します。

(2) 輸送・交通対策

選手等参加者を安全・確実かつ円滑に輸送するため、三重とこわか国体の開・閉会式及び三重とこわか大会全般の輸送実施計画を策定することとしており、今年度は、実施計画の骨子を作成しています。令和2年度は、配宿計画等関連計画との調整を図りながら、実施計画の詳細を検討し、開催年度に計画を確定できるよう進めていきます。特に開・閉会式においては、両大会参加者と観光客がともに可能な限り円滑に移動できるよう、県警、伊勢市、公共交通事業者等と相談・連携もしながら対応していきます。また、必要となるバスの確保にも取り組んでいきます。

(3) 医事衛生

各会場に設置する救護所における医師・看護師等の確保のため、三重県医師会、三重県病院協会、三重大学医学部附属病院、三重県歯科医師会、三重県看護協会を訪問し、派遣等についての相談・協力依頼を行いました。現在、まずは各郡市医師会を訪問し具体の依頼・調整を行っており、引き続き医師・看護師等の派遣について、三重県医師会等の協力を得ながら取り組んでいきます。

(医療従事者必要見込み者数調査(第一次)の結果)

| | 医師 | 歯科医師 | 看護師 |
|----------|-----|------|-----|
| 三重とこわか国体 | 279 | 14 | 437 |
| 三重とこわか大会 | 98 | 3 | 103 |
| 合計 | 377 | 17 | 540 |

5 両大会を支える体制づくりについて

三重とこわか国体の総合開・閉会式、三重とこわか大会のリハーサル大会や開・閉会式、競技会などで活動していただく、運営ボランティア、情報支援ボランティア、移動支援ボランティアについては、令和元年10月から募集を開始しています。

現在、ホームページやPR活動における情報発信やすでに広報ボランティア等に参加していただいている方への呼びかけなどの周知を行っており、今後さらに多くの方に参加していただけるよう、聖火リレーのボランティアへの参加者をはじめ、企業や団体等にも協力が得られるよう働きかけを行っていきます。

なお、情報支援ボランティアは令和2年5月から、運営ボランティアと移動支援ボランティアについては令和2年10月以降から研修を行い、両大会に向けて着実に準備を進めていきます。

6 開催経費節減に向けた取組について

両大会における開催経費については、今後、県や市町が行う実施設計や策定する計画の成果をもとに、準備物の数量や必要人員などを具体化し、必要経費を積算していくこととなります。

これまででも、競技用具の共同購入等の経費節減を行ってきたところですが、今後は異なる業務における重複の排除や数量の精査を行うなど、可能な限り、簡素・効率化を心がけ、設計等に取り組んでまいります。

10 競技力向上の取組について

1 現状

第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体での本県の競技成績は、天皇杯順位（男女総合成績）14位、皇后杯順位（女子総合成績）20位となりました。

目標の10位以内には及びませんでした。天皇杯順位は前年の20位から躍進し、入賞件数も昨年度の83件から106件に増加するなど、これまでの取組が少しずつあらわれてきました。

大会終了後、三重県競技力向上対策本部の専門委員会（ジュニア・少年選手強化、成年選手強化、企業等連絡調整）及び対策委員会を開催し、有識者等の委員との協議を行うなかで、天皇杯・皇后杯を獲得した今年度の茨城県の得点力などを分析するとともに、鹿児島国体や三重とこわか国体に向けた本県の課題や強化の在り方について検討を重ねてきました。

2 課題

(1) 少年種別の課題

- ・主に中学生を中心とした選手の県外流出を防ぐとともに、県外出身選手の受け入れを進め、チーム体制を整える必要があります。
- ・これら三重とこわか国体のチームや、中心選手として活躍が期待できるターゲットエイジに的を絞って、強化活動に取り組んでいく必要があります。

(2) 成年種別の課題

- ・団体競技や女子種別などを中心に選手が不足している競技も少なくないことから、選手の獲得を一層進めることが必要です。
- ・強豪チームを擁する大学や、実業団チームが少ないことから、有力なクラブチームへの支援を行うことも必要です。
- ・本県選手や獲得した選手が確実に実力を発揮できるよう、強化活動への支援や選手の受け入れ環境の整備が必要です。

3 今後の取組

(1) 少年種別の強化

- ・選手の県外流出を防ぐとともに、強化指定運動部を中心に県外からも有力選手の受け入れを進め、こうした選手を中心とした三重とこわか国体に向けたチームづくりを進めます。
- ・これらのチームや選手（ターゲットエイジ）が三重とこわか国体を勝ち抜けるよう、高等学校運動部強化指定事業などにより育成・強化を進めるとともに、チームみえ・コーチアカデミーセンターの取組を充実させ、指導者の資質向上や指導体制の充実に取り組みます。

(2) 成年種別の強化

- ・競技団体と連携し強豪大学等へのスカウト活動をさらに進め、県内企業の協力を得て、選手が不足している団体競技、女子種別などを中心にトップアスリートの県内定着を図り、令和3年4月に向け「チームみえ」の完成をめざします。
- ・三重とこわか国体を戦うチームとして競技団体が位置付ける企業・クラブチームに対しては、直接、重点的に支援を行うなどにより強化を実施します。
- ・本県の選手や本県に定着したトップアスリートに対し、競技団体が実施する強化活動について、チームの完成度や、取組の計画性、効果等を定期的に確認しながら、適時・的確に支援を行います。
- ・競技への出場及び高得点の獲得に不可欠となる競技用具等について整備を進めるほか、選手やチームの活躍を広く発信することで、選手が所属する企業・団体から強化活動参加への配慮や応援などを受けられるようにするなど、選手の競技・練習環境の確保を図ります。

令和2年度は、「三重県競技力向上対策基本方針」において位置付けた躍進期の2年目であり、三重とこわか国体の開催がいよいよ翌年に迫る中、鹿児島国体で目標とする男女総合成績10位以内を獲得するため、これら各競技団体の現状に即した効果的な強化対策に着実に取り組み、三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得を確実なものとしていきます。

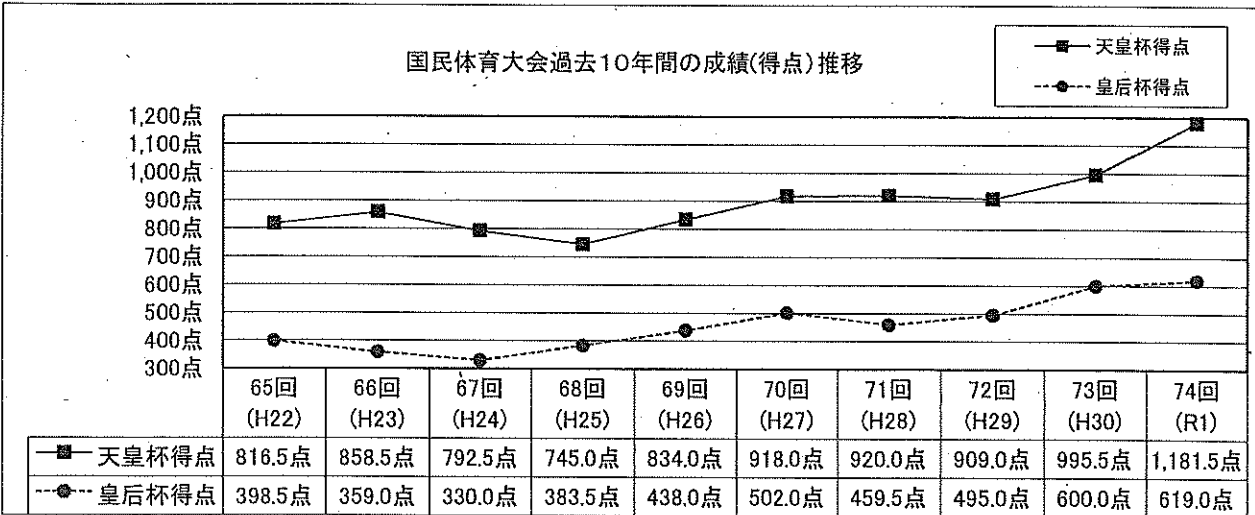
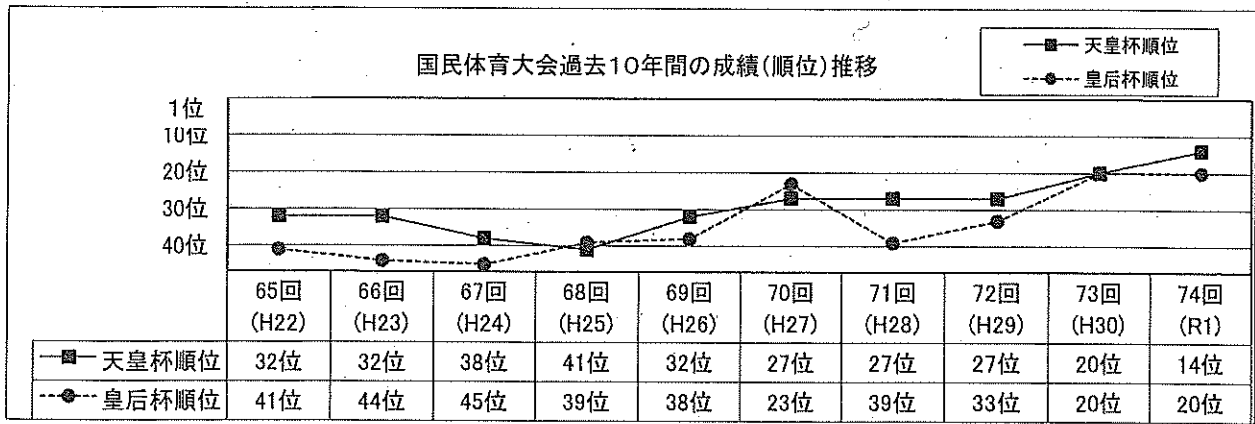
第68回～74回国体における天皇杯 順位の推移

| 第68回東京 2011(H25) | | | 第69回長崎 2012(H26) | | | 第70回和歌山 2013(H27) | | | 第71回岩手 2014(H28) | | | 第72回愛媛 2017(H29) | | | 第73回福井 2018(H30) | | | 第74回茨城 2019(H31) | | | | | |
|---------------------|-----|---------|---------------------|-----|---------|----------------------|-----|---------|---------------------|-----|---------|---------------------|-----|---------|---------------------|-----|---------|---------------------|-----|---------|---|----|------|
| 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 |
| 1 | 東京 | 3486.0 | 1 | 長崎 | 2,364.0 | -1 | 和歌山 | 2,257.0 | 1 | 東京 | 2,532.5 | 1 | 東京 | 2,535.0 | 1 | 福井 | 2,896.0 | 1 | 茨城 | 2,569.0 | | | |
| 2 | 大阪 | 1839.5 | 2 | 東京 | 2,113.5 | 2 | 東京 | 2,052.5 | 2 | 岩手 | 1,924.0 | 2 | 愛媛 | 2,395.5 | 2 | 東京 | 2,246.0 | 2 | 東京 | 2,217.0 | | | |
| 3 | 埼玉 | 1813.5 | 3 | 愛知 | 1,886.5 | 3 | 愛知 | 1,977.5 | 3 | 埼玉 | 1,893.0 | 3 | 埼玉 | 1,787.5 | 3 | 大阪 | 1,880.0 | 3 | 愛知 | 1,789.0 | | | |
| 4 | 愛知 | 1811.0 | 4 | 大阪 | 1,807.5 | 4 | 埼玉 | 1,904.5 | 4 | 愛知 | 1,777.5 | 4 | 大阪 | 1,784.0 | 4 | 埼玉 | 1,825.5 | 4 | 埼玉 | 1,735.0 | | | |
| 5 | 岐阜 | 1681.0 | 5 | 埼玉 | 1,702.5 | 5 | 大阪 | 1,806.5 | 5 | 千葉 | 1,676.0 | 5 | 神奈川 | 1,674.5 | 5 | 千葉 | 1,708.5 | 5 | 神奈川 | 1,643.5 | | | |
| 6 | 神奈川 | 1617.83 | 6 | 神奈川 | 1,649.5 | 6 | 神奈川 | 1,626.0 | 6 | 大阪 | 1,642.0 | 6 | 愛知 | 1,643.5 | 6 | 愛知 | 1,687.5 | 6 | 大阪 | 1,552.0 | | | |
| 7 | 千葉 | 1524.5 | 7 | 福岡 | 1,509.5 | 7 | 千葉 | 1,528.5 | 7 | 愛媛 | 1,531.0 | 7 | 福井 | 1,588.5 | 7 | 神奈川 | 1,611.0 | 7 | 千葉 | 1,470.5 | | | |
| 8 | 福岡 | 1410.0 | 8 | 北海道 | 1,484.5 | 8 | 福岡 | 1,519.5 | 8 | 神奈川 | 1,520.0 | 8 | 千葉 | 1,531.5 | 8 | 福岡 | 1,468.0 | 8 | 京都 | 1,410.0 | | | |
| 9 | 北海道 | 1330.5 | 9 | 岐阜 | 1,439.5 | 9 | 北海道 | 1,393.0 | 9 | 北海道 | 1,408.0 | 9 | 福岡 | 1,415.5 | 9 | 北海道 | 1,407.3 | 9 | 北海道 | 1,397.5 | | | |
| 10 | 長崎 | 1219.5 | 10 | 千葉 | 1,394.0 | 10 | 京都 | 1,293.5 | 10 | 岐阜 | 1,354.5 | 10 | 北海道 | 1,287.5 | 10 | 兵庫 | 1,312.5 | 10 | 福井 | 1,391.0 | | | |
| 11 | 京都 | 1197.0 | 11 | 兵庫 | 1,314.0 | 11 | 岡山 | 1,222.5 | 11 | 兵庫 | 1,293.0 | 11 | 京都 | 1,278.5 | 11 | 岡山 | 1,288.5 | 11 | 福岡 | 1,337.5 | | | |
| 12 | 兵庫 | 1183.0 | 12 | 京都 | 1,222.5 | 12 | 兵庫 | 1,215.5 | 12 | 京都 | 1,289.0 | 12 | 兵庫 | 1,237.5 | 12 | 愛媛 | 1,235.0 | 12 | 岡山 | 1,267.0 | | | |
| 13 | 栃木 | 1037.25 | 13 | 岡山 | 1,195.5 | 13 | 愛媛 | 1,203.5 | 13 | 福岡 | 1,286.0 | 13 | 岐阜 | 1,151.0 | 13 | 長野 | 1,233.5 | 13 | 兵庫 | 1,184.5 | | | |
| 14 | 群馬 | 1036.5 | 14 | 群馬 | 1,139.0 | 14 | 長野 | 1,150.5 | 14 | 広島 | 1,192.5 | 14 | 岩手 | 1,125.0 | 14 | 岐阜 | 1,232.5 | 14 | 三重 | 1,181.5 | | | |
| 15 | 広島 | 1036.0 | 15 | 和歌山 | 1,063.0 | 15 | 岐阜 | 1,130.5 | 15 | 岡山 | 1,146.0 | 15 | 広島 | 1,123.5 | 15 | 京都 | 1,156.0 | 15 | 鹿児島 | 1,151.0 | | | |
| 16 | 岡山 | 1023.25 | 16 | 石川 | 1,027.5 | 16 | 岩手 | 1,099.0 | 16 | 静岡 | 1,093.5 | 16 | 岡山 | 1,093.5 | 16 | 茨城 | 1,120.0 | 16 | 長野 | 1,090.0 | | | |
| 17 | 長野 | 1002.5 | 17 | 福井 | 1,018.5 | 17 | 長崎 | 1,070.5 | 17 | 新潟 | 1,054.0 | 17 | 静岡 | 1,071.5 | 17 | 鹿児島 | 1,041.0 | 17 | 静岡 | 1,083.5 | | | |
| 18 | 和歌山 | 990.5 | 18 | 広島 | 1,012.5 | 18 | 熊本 | 1,038.5 | 18 | 福井 | 1,052.5 | 18 | 長野 | 1,057.5 | 18 | 広島 | 1,033.8 | 18 | 栃木 | 1,075.5 | | | |
| 19 | 山形 | 974.5 | 19 | 宮崎 | 1,001.0 | 19 | 栃木 | 1,029.0 | 19 | 長野 | 1,041.5 | 19 | 奈良 | 990.5 | 19 | 静岡 | 1,033.5 | 19 | 岐阜 | 1,060.0 | | | |
| 20 | 静岡 | 968.75 | 20 | 長野 | 997.0 | 20 | 静岡 | 1,015.5 | 20 | 和歌山 | 1,008.5 | 20 | 秋田 | 989.0 | 20 | 三重 | 995.5 | 20 | 広島 | 1,044.5 | | | |
| 21 | 宮城 | 955.0 | 21 | 愛媛 | 984.5 | 21 | 広島 | 1,000.5 | 21 | 富山 | 988.5 | 21 | 栃木 | 964.0 | 21 | 大分 | 974.5 | 21 | 愛媛 | 1,021.5 | | | |
| 22 | 大分 | 944.0 | 22 | 山口 | 971.5 | 22 | 群馬 | 997.5 | 22 | 茨城 | 981.5 | 22 | 群馬 | 950.0 | 22 | 富山 | 966.5 | 22 | 和歌山 | 997.0 | | | |
| 23 | 岩手 | 943.0 | 23 | 栃木 | 966.5 | 23 | 宮城 | 956.5 | 23 | 山梨 | 953.5 | 23 | 茨城 | 948.0 | 23 | 石川 | 956.0 | 23 | 大分 | 921.5 | | | |
| 24 | 福井 | 938.0 | 24 | 熊本 | 935.0 | 24 | 滋賀 | 940.0 | 24 | 宮城 | 948.0 | 24 | 長崎 | 840.0 | 24 | 岩手 | 939.5 | 24 | 山口 | 908.0 | | | |
| 25 | 新潟 | 935.5 | 25 | 宮城 | 934.0 | 25 | 大分 | 930.5 | 25 | 群馬 | 934.0 | 25 | 大分 | 936.5 | 25 | 奈良 | 919.0 | 25 | 香川 | 906.0 | | | |
| 26 | 愛媛 | 932.75 | 26 | 静岡 | 917.0 | 26 | 福井 | 920.5 | 26 | 山形 | 929.0 | 26 | 和歌山 | 934.5 | 26 | 熊本 | 915.5 | 26 | 長崎 | 903.0 | | | |
| 27 | 熊本 | 923.5 | 27 | 鹿児島 | 897.5 | 27 | 三重 | 918.0 | 27 | 三重 | 920.0 | 27 | 三重 | 909.0 | 27 | 和歌山 | 912.5 | 27 | 奈良 | 899.5 | | | |
| 28 | 石川 | 903.0 | 28 | 大分 | 896.0 | 28 | 山口 | 904.5 | 28 | 長崎 | 919.5 | 28 | 石川 | 906.5 | 28 | 栃木 | 875.5 | 28 | 宮城 | 882.5 | | | |
| 29 | 茨城 | 886.5 | 29 | 山梨 | 892.0 | 29 | 石川 | 887.0 | 29 | 山口 | 906.5 | 29 | 熊本 | 903.0 | 29 | 香川 | 859.5 | 29 | 熊本 | 879.0 | | | |
| 30 | 香川 | 880.0 | 30 | 山形 | 870.0 | 30 | 香川 | 879.0 | 30 | 栃木 | 903.5 | 30 | 香川 | 888.0 | 30 | 宮城 | 859.0 | 30 | 滋賀 | 870.5 | | | |
| 31 | 山梨 | 856.5 | 31 | 茨城 | 852.5 | 31 | 福島 | 866.0 | 31 | 熊本 | 899.5 | 31 | 山形 | 873.5 | 31 | 滋賀 | 854.5 | 31 | 岩手 | 850.0 | | | |
| 32 | 山口 | 848.5 | 32 | 三重 | 834.0 | 32 | 茨城 | 839.0 | 32 | 鹿児島 | 895.0 | 32 | 新潟 | 871.0 | 32 | 群馬 | 846.0 | 32 | 山形 | 848.0 | | | |
| 33 | 富山 | 842.5 | 33 | 富山 | 830.5 | 33 | 奈良 | 834.5 | 33 | 滋賀 | 888.0 | 33 | 鹿児島 | 864.5 | 33 | 佐賀 | 826.5 | 33 | 佐賀 | 830.5 | | | |
| 34 | 青森 | 840.0 | 34 | 福島 | 823.0 | 34 | 山梨 | 818.5 | 34 | 奈良 | 869.0 | 34 | 宮城 | 842.0 | 34 | 山形 | 817.3 | 34 | 新潟 | 826.5 | | | |
| 35 | 福島 | 816.5 | 35 | 滋賀 | 810.5 | 35 | 富山 | 807.0 | 35 | 福島 | 843.5 | 35 | 青森 | 827.5 | 35 | 山口 | 813.0 | 35 | 石川 | 816.5 | | | |
| 36 | 鹿児島 | 815.5 | 36 | 奈良 | 810.5 | 36 | 山形 | 801.5 | 36 | 石川 | 838.0 | 36 | 富山 | 821.0 | 36 | 山梨 | 803.0 | 36 | 富山 | 815.5 | | | |
| 37 | 奈良 | 787.0 | 37 | 岩手 | 807.5 | 37 | 鹿児島 | 789.5 | 37 | 秋田 | 817.5 | 37 | 山梨 | 812.5 | 37 | 新潟 | 792.5 | 37 | 山梨 | 809.0 | | | |
| 38 | 宮崎 | 778.0 | 38 | 鳥取 | 790.0 | 38 | 秋田 | 774.5 | 38 | 大分 | 786.0 | 38 | 鳥根 | 806.0 | 38 | 秋田 | 787.5 | 38 | 群馬 | 789.5 | | | |
| 39 | 秋田 | 774.5 | 39 | 佐賀 | 783.0 | 39 | 新潟 | 767.0 | 39 | 宮崎 | 768.5 | 39 | 滋賀 | 802.5 | 39 | 宮崎 | 780.5 | 39 | 福島 | 783.5 | | | |
| 40 | 滋賀 | 763.83 | 40 | 新潟 | 780.0 | 40 | 青森 | 722.5 | 40 | 青森 | 759.5 | 40 | 山口 | 797.5 | 40 | 鳥取 | 751.0 | 40 | 鳥根 | 725.0 | | | |
| 41 | 三重 | 745.0 | 41 | 香川 | 779.5 | 41 | 鳥取 | 722.5 | 41 | 香川 | 759.5 | 41 | 福島 | 768.0 | 41 | 長崎 | 725.0 | 41 | 宮崎 | 718.0 | | | |
| 42 | 高知 | 721.5 | 42 | 秋田 | 769.0 | 42 | 宮崎 | 707.5 | 42 | 鳥取 | 753.5 | 42 | 鳥取 | 751.5 | 42 | 青森 | 692.5 | 42 | 沖繩 | 715.5 | | | |
| 43 | 沖繩 | 719.5 | 43 | 青森 | 758.5 | 43 | 佐賀 | 687.5 | 43 | 佐賀 | 739.5 | 43 | 佐賀 | 730.5 | 43 | 沖繩 | 655.5 | 43 | 鳥取 | 714.0 | | | |
| 44 | 佐賀 | 651.0 | 44 | 沖繩 | 726.0 | 44 | 鳥根 | 648.5 | 44 | 沖繩 | 702.0 | 44 | 宮崎 | 702.0 | 44 | 福島 | 654.0 | 44 | 秋田 | 707.5 | | | |
| 45 | 鳥取 | 620.0 | 45 | 鳥根 | 555.0 | 45 | 沖繩 | 633.0 | 45 | 鳥根 | 632.0 | 45 | 沖繩 | 670.0 | 45 | 徳島 | 607.5 | 45 | 青森 | 694.0 | | | |
| 46 | 鳥根 | 575.83 | 46 | 徳島 | 550.0 | 46 | 徳島 | 605.5 | 46 | 徳島 | 540.5 | 46 | 徳島 | 613.5 | 46 | 鳥根 | 533.0 | 46 | 高知 | 630.0 | | | |
| 47 | 徳島 | 536.5 | 47 | 高知 | 539.0 | 47 | 高知 | 576.5 | 47 | 高知 | 455.5 | 47 | 高知 | 552.5 | 47 | 高知 | 506.8 | 47 | 徳島 | 614.0 | | | |

第68回～74回国体における皇后杯順位の推移

| 第68回東京 2011(H25) | | | 第69回長崎 2012(H26) | | | 第70回和歌山 2013(H27) | | | 第71回岩手 2014(H28) | | | 第72回愛媛 2017(H29) | | | 第73回福井 2018(H30) | | | 第74回茨城 2019(R1) | | |
|---------------------|-----|--------|---------------------|-----|--------|----------------------|-----|--------|---------------------|-----|--------|---------------------|-----|--------|---------------------|-----|--------|--------------------|-----|--------|
| 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 | 順 | 県名 | 得点合計 |
| 1 | 東京 | 1622.0 | 1 | 東京 | 1118.5 | 1 | 東京 | 1121.0 | 1 | 東京 | 1322.5 | 1 | 東京 | 1282.0 | 1 | 福井 | 1462.5 | 1 | 茨城 | 1331.0 |
| 2 | 大阪 | 883.5 | 2 | 長崎 | 1076.5 | 2 | 和歌山 | 999.5 | 2 | 岩手 | 981.0 | 2 | 愛媛 | 1196.0 | 2 | 東京 | 1280.5 | 2 | 東京 | 1286.5 |
| 3 | 岐阜 | 840.0 | 3 | 愛知 | 1024.0 | 3 | 大阪 | 963.5 | 3 | 愛知 | 979.0 | 3 | 大阪 | 985.0 | 3 | 大阪 | 1046.0 | 3 | 愛知 | 1043.5 |
| 4 | 埼玉 | 835.5 | 4 | 大阪 | 919.0 | 4 | 愛知 | 942.5 | 4 | 埼玉 | 970.0 | 4 | 愛知 | 925.0 | 4 | 愛知 | 1007.0 | 4 | 埼玉 | 997.5 |
| 5 | 千葉 | 834.5 | 5 | 岐阜 | 825.0 | 5 | 埼玉 | 803.0 | 5 | 愛媛 | 968.0 | 5 | 埼玉 | 915.5 | 5 | 埼玉 | 957.5 | 5 | 大阪 | 926.0 |
| 6 | 愛知 | 822.0 | 6 | 千葉 | 818.5 | 6 | 千葉 | 749.5 | 6 | 大阪 | 951.0 | 6 | 千葉 | 842.5 | 6 | 神奈川 | 884.0 | 6 | 京都 | 807.5 |
| 7 | 神奈川 | 725.5 | 7 | 北海道 | 763.0 | 7 | 神奈川 | 729.5 | 7 | 千葉 | 919.0 | 7 | 神奈川 | 835.0 | 7 | 千葉 | 830.0 | 7 | 千葉 | 801.5 |
| 8 | 福岡 | 721.0 | 8 | 兵庫 | 752.5 | 8 | 兵庫 | 694.5 | 8 | 京都 | 790.5 | 8 | 福井 | 825.0 | 8 | 福岡 | 815.0 | 8 | 兵庫 | 787.0 |
| 9 | 兵庫 | 682.5 | 9 | 神奈川 | 693.0 | 9 | 北海道 | 670.5 | 9 | 神奈川 | 751.0 | 9 | 兵庫 | 823.5 | 9 | 兵庫 | 814.0 | 9 | 神奈川 | 771.0 |
| 10 | 北海道 | 670.0 | 10 | 埼玉 | 662.0 | 10 | 愛媛 | 665.0 | 10 | 北海道 | 743.5 | 10 | 福岡 | 767.5 | 10 | 愛媛 | 763.0 | 10 | 福岡 | 759.5 |
| 11 | 群馬 | 602.0 | 11 | 福岡 | 642.5 | 11 | 岐阜 | 658.0 | 11 | 兵庫 | 735.0 | 11 | 京都 | 745.5 | 11 | 長野 | 731.5 | 11 | 福井 | 746.5 |
| 12 | 広島 | 599.0 | 12 | 愛媛 | 622.5 | 12 | 福岡 | 625.0 | 12 | 福岡 | 734.5 | 12 | 岩手 | 675.5 | 12 | 岡山 | 707.5 | 12 | 鹿児島 | 683.5 |
| 13 | 長崎 | 594.0 | 13 | 群馬 | 607.0 | 13 | 広島 | 624.5 | 13 | 岐阜 | 733.0 | 13 | 岐阜 | 664.5 | 13 | 静岡 | 698.0 | 13 | 愛媛 | 666.0 |
| 14 | 栃木 | 584.5 | 14 | 広島 | 568.5 | 14 | 静岡 | 610.5 | 14 | 茨城 | 660.5 | 14 | 岡山 | 628.5 | 14 | 茨城 | 689.5 | 14 | 長野 | 655.5 |
| 15 | 愛媛 | 571.0 | 15 | 熊本 | 555.0 | 15 | 岡山 | 608.5 | 15 | 広島 | 655.5 | 15 | 北海道 | 628.0 | 15 | 北海道 | 666.3 | 15 | 岡山 | 647.0 |
| 16 | 長野 | 529.5 | 16 | 山梨 | 552.5 | 16 | 岩手 | 598.0 | 16 | 岡山 | 653.5 | 16 | 広島 | 615.5 | 16 | 鹿児島 | 647.0 | 16 | 広島 | 647.0 |
| 17 | 山梨 | 526.0 | 17 | 岡山 | 546.5 | 17 | 長野 | 598.0 | 17 | 福井 | 645.5 | 17 | 群馬 | 612.5 | 17 | 岐阜 | 646.0 | 17 | 北海道 | 636.0 |
| 18 | 新潟 | 525.5 | 18 | 京都 | 545.5 | 18 | 京都 | 597.0 | 18 | 長野 | 623.5 | 18 | 静岡 | 608.0 | 18 | 広島 | 637.8 | 18 | 岐阜 | 633.5 |
| 19 | 京都 | 519.5 | 19 | 和歌山 | 543.5 | 19 | 群馬 | 569.0 | 19 | 新潟 | 610.5 | 19 | 長野 | 606.0 | 19 | 京都 | 613.0 | 19 | 静岡 | 623.0 |
| 20 | 熊本 | 517.5 | 20 | 栃木 | 540.0 | 20 | 長崎 | 547.5 | 20 | 静岡 | 588.5 | 20 | 秋田 | 582.0 | 20 | 三重 | 600.0 | 20 | 三重 | 619.0 |
| 21 | 静岡 | 516.5 | 21 | 静岡 | 526.5 | 21 | 熊本 | 542.0 | 21 | 富山 | 586.5 | 21 | 茨城 | 558.0 | 21 | 群馬 | 591.5 | 21 | 群馬 | 583.5 |
| 22 | 福井 | 511.0 | 22 | 長野 | 500.5 | 22 | 宮城 | 537.0 | 22 | 熊本 | 566.5 | 22 | 長崎 | 553.5 | 22 | 石川 | 581.5 | 22 | 石川 | 573.5 |
| 23 | 山形 | 508.5 | 23 | 宮城 | 495.5 | 23 | 三重 | 502.0 | 23 | 山形 | 566.0 | 23 | 鹿児島 | 543.0 | 23 | 山形 | 575.3 | 23 | 山形 | 568.0 |
| 24 | 宮城 | 493.5 | 24 | 奈良 | 486.5 | 24 | 福井 | 500.5 | 24 | 山梨 | 566.0 | 24 | 熊本 | 542.0 | 24 | 富山 | 558.0 | 24 | 大分 | 558.0 |
| 25 | 山口 | 490.5 | 25 | 佐賀 | 484.0 | 25 | 茨城 | 488.5 | 25 | 群馬 | 565.5 | 25 | 山形 | 541.5 | 25 | 岩手 | 555.5 | 25 | 長崎 | 554.5 |
| 26 | 和歌山 | 490.0 | 26 | 鹿児島 | 480.5 | 26 | 滋賀 | 486.0 | 26 | 宮城 | 558.0 | 26 | 新潟 | 519.0 | 26 | 栃木 | 538.5 | 26 | 栃木 | 551.0 |
| 27 | 岩手 | 483.0 | 27 | 山口 | 476.5 | 27 | 山口 | 470.5 | 27 | 鳥取 | 554.0 | 27 | 山口 | 519.0 | 27 | 熊本 | 537.5 | 27 | 鳥取 | 543.0 |
| 28 | 滋賀 | 477.0 | 28 | 富山 | 475.5 | 28 | 大分 | 468.5 | 28 | 鹿児島 | 551.5 | 28 | 和歌山 | 509.0 | 28 | 香川 | 526.0 | 28 | 滋賀 | 518.5 |
| 29 | 大分 | 469.5 | 29 | 福島 | 471.5 | 29 | 山梨 | 459.5 | 29 | 和歌山 | 544.0 | 29 | 奈良 | 506.5 | 29 | 大分 | 523.5 | 29 | 和歌山 | 515.5 |
| 30 | 鹿児島 | 462.0 | 30 | 石川 | 468.5 | 30 | 鳥取 | 459.0 | 30 | 香川 | 527.0 | 30 | 石川 | 500.5 | 30 | 奈良 | 520.5 | 30 | 佐賀 | 514.5 |
| 30 | 富山 | 458.0 | 30 | 鳥取 | 458.5 | 31 | 栃木 | 454.5 | 31 | 福島 | 519.5 | 30 | 鳥取 | 500.5 | 30 | 山口 | 504.5 | 31 | 岩手 | 507.5 |
| 32 | 香川 | 452.0 | 32 | 山形 | 453.5 | 32 | 佐賀 | 440.0 | 32 | 石川 | 508.5 | 32 | 富山 | 500.0 | 32 | 佐賀 | 504.0 | 32 | 富山 | 506.5 |
| 33 | 岡山 | 447.5 | 33 | 岩手 | 450.0 | 33 | 鹿児島 | 437.0 | 33 | 佐賀 | 493.0 | 33 | 三重 | 495.0 | 33 | 山梨 | 486.5 | 33 | 山口 | 497.5 |
| 34 | 福島 | 445.0 | 34 | 福井 | 449.5 | 34 | 香川 | 433.5 | 34 | 山口 | 491.5 | 34 | 山梨 | 488.5 | 34 | 長崎 | 485.0 | 34 | 熊本 | 489.0 |
| 35 | 石川 | 442.5 | 34 | 滋賀 | 449.5 | 35 | 福島 | 430.5 | 35 | 長崎 | 491.0 | 35 | 鳥根 | 488.0 | 35 | 滋賀 | 471.5 | 35 | 山梨 | 484.5 |
| 36 | 青森 | 434.0 | 36 | 大分 | 445.0 | 36 | 石川 | 430.0 | 36 | 秋田 | 486.5 | 36 | 香川 | 464.5 | 36 | 宮城 | 466.0 | 36 | 福島 | 484.0 |
| 37 | 茨城 | 421.5 | 37 | 茨城 | 441.5 | 37 | 富山 | 425.0 | 37 | 奈良 | 470.0 | 37 | 宮城 | 462.5 | 37 | 和歌山 | 466.0 | 37 | 青森 | 471.0 |
| 38 | 佐賀 | 397.0 | 38 | 三重 | 438.0 | 38 | 秋田 | 414.0 | 38 | 滋賀 | 466.5 | 38 | 佐賀 | 462.0 | 38 | 鳥取 | 459.5 | 38 | 宮城 | 469.5 |
| 39 | 三重 | 383.5 | 39 | 新潟 | 425.0 | 39 | 山形 | 410.5 | 39 | 三重 | 459.5 | 39 | 栃木 | 461.0 | 39 | 秋田 | 450.0 | 39 | 香川 | 459.0 |
| 40 | 高知 | 382.0 | 40 | 秋田 | 420.0 | 40 | 新潟 | 405.5 | 40 | 青森 | 458.5 | 40 | 福島 | 455.0 | 40 | 宮崎 | 439.5 | 40 | 奈良 | 458.5 |
| 41 | 宮崎 | 377.5 | 41 | 宮崎 | 414.5 | 41 | 徳島 | 367.5 | 41 | 栃木 | 452.5 | 41 | 大分 | 449.0 | 41 | 新潟 | 439.0 | 41 | 新潟 | 457.0 |
| 42 | 秋田 | 371.5 | 42 | 香川 | 402.0 | 42 | 沖繩 | 356.0 | 42 | 大分 | 447.5 | 42 | 滋賀 | 442.0 | 42 | 沖繩 | 430.0 | 42 | 宮崎 | 442.5 |
| 43 | 奈良 | 365.5 | 43 | 青森 | 383.0 | 43 | 青森 | 354.0 | 43 | 鳥根 | 444.0 | 43 | 沖繩 | 441.5 | 43 | 青森 | 423.0 | 43 | 秋田 | 433.0 |
| 44 | 鳥取 | 360.5 | 44 | 鳥根 | 367.0 | 44 | 鳥根 | 347.0 | 44 | 宮崎 | 440.5 | 44 | 徳島 | 416.5 | 44 | 徳島 | 415.5 | 44 | 鳥根 | 426.0 |
| 45 | 沖繩 | 347.0 | 45 | 沖繩 | 360.5 | 45 | 高知 | 340.0 | 45 | 沖繩 | 419.0 | 45 | 宮崎 | 403.0 | 45 | 福島 | 412.0 | 45 | 徳島 | 419.5 |
| 46 | 徳島 | 341.5 | 46 | 徳島 | 331.0 | 46 | 奈良 | 337.0 | 46 | 徳島 | 380.0 | 46 | 青森 | 395.5 | 46 | 鳥根 | 388.5 | 46 | 沖繩 | 418.0 |
| 47 | 鳥根 | 332.0 | 47 | 高知 | 315.5 | 47 | 宮崎 | 334.5 | 47 | 高知 | 373.5 | 47 | 高知 | 382.5 | 47 | 高知 | 328.8 | 47 | 高知 | 369.0 |

第74回国民体育大会に係る総合成績



男女総合成績競技別一覧

| 競技順位 | 競技名 | 競技得点 | 参加点 | 合計 |
|------|--------------|-------|-------|--------|
| 2 | テニス | 63.0 | 10.0 | 73.0 |
| 2 | ウエイトリフティング | 81.0 | 10.0 | 91.0 |
| 5 | サッカー | 64.0 | 10.0 | 74.0 |
| 5 | アーチェリー | 27.0 | 10.0 | 37.0 |
| 6 | セーリング | 33.0 | 10.0 | 43.0 |
| 6 | ラグビーフットボール | 40.0 | 10.0 | 50.0 |
| 6 | ボウリング | 43.0 | 10.0 | 53.0 |
| 8 | ハンドボール | 37.5 | 10.0 | 47.5 |
| 8 | 馬術 | 37.0 | 10.0 | 47.0 |
| 8 | フェンシング | 24.0 | 10.0 | 34.0 |
| 10 | レスリング | 36.0 | 10.0 | 46.0 |
| 10 | ソフトテニス | 30.0 | 10.0 | 40.0 |
| 10 | 弓道 | 33.0 | 10.0 | 43.0 |
| 12 | 陸上競技 | 63.0 | 10.0 | 73.0 |
| 13 | 体操 | 15.0 | 10.0 | 25.0 |
| 14 | 卓球 | 7.5 | 10.0 | 17.5 |
| 14 | ソフトボール | 20.0 | 10.0 | 30.0 |
| 15 | 剣道 | 12.5 | 10.0 | 22.5 |
| 15 | スキー | 7.0 | 10.0 | 17.0 |
| 17 | スポーツクライミング | 18.0 | 10.0 | 28.0 |
| 18 | 空手道 | 6.0 | 10.0 | 16.0 |
| 18 | なぎなた | 3.0 | 10.0 | 13.0 |
| 20 | 水泳 | 38.5 | 10.0 | 48.5 |
| 23 | スケート | 10.0 | 10.0 | 20.0 |
| 27 | カーヌー | 18.0 | 10.0 | 28.0 |
| 28 | ボクシング | 2.5 | 10.0 | 12.5 |
| 29 | ライフル射撃 | 7.0 | 10.0 | 17.0 |
| 30 | 自転車 | 5.0 | 10.0 | 15.0 |
| 小計 | 28競技(競技得点あり) | 781.5 | 280.0 | 1061.5 |
| | 12競技(参加得点のみ) | | 120.0 | 120.0 |
| | 40競技 | 781.5 | 400.0 | 1181.5 |

女子総合成績競技別一覧

| 競技順位 | 競技名 | 競技得点 | 参加点 | 合計 |
|------|--------------|-------|-------|-------|
| 1 | サッカー | 64.0 | 10.0 | 74.0 |
| 2 | ボウリング | 43.0 | 10.0 | 53.0 |
| 4 | テニス | 21.0 | 10.0 | 31.0 |
| 4 | ハンドボール | 37.5 | 10.0 | 47.5 |
| 5 | ウエイトリフティング | 15.0 | 10.0 | 25.0 |
| 5 | 馬術 | 15.0 | 10.0 | 25.0 |
| 9 | レスリング | 2.5 | 10.0 | 12.5 |
| 10 | ソフトテニス | 15.0 | 10.0 | 25.0 |
| 10 | ソフトボール | 20.0 | 10.0 | 30.0 |
| 12 | アーチェリー | 6.0 | 10.0 | 16.0 |
| 12 | スキー | 4.0 | 10.0 | 14.0 |
| 14 | セーリング | 8.0 | 10.0 | 18.0 |
| 18 | なぎなた | 3.0 | 10.0 | 13.0 |
| 23 | カーヌー | 6.0 | 10.0 | 16.0 |
| 32 | 陸上競技 | 9.0 | 10.0 | 19.0 |
| 小計 | 15競技(競技得点あり) | 269.0 | 150.0 | 419.0 |
| | 20競技(参加得点のみ) | | 200.0 | 200.0 |
| | 1競技(不参加) | | 0.0 | 0.0 |
| | 36競技 | 269.0 | 350.0 | 619.0 |

国民体育大会における天皇杯順位・入賞数・競技得点の推移

【総合順位】

| 回 | 第68回 (H25) | 第69回 (H26) | 第70回 (H27) | 第71回 (H28) | 第72回 (H29) | 第73回 (H30) | 第74回 (R1) |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 天皇杯(男女総合成績) | 41 | 32 | 27 | 27 | 27 | 20 | 14 |
| 皇后杯(女子総合成績) | 39 | 38 | 23 | 39 | 33 | 20 | 20 |

【成年入賞数】

| 回 | | 第68回 (H25) | 第69回 (H26) | 第70回 (H27) | 第71回 (H28) | 第72回 (H29) | 第73回 (H30) | 第74回 (R1) |
|----|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 団体 | 成年男子 | 6 | 3 | 6 | 6 | 5 | 9 | 9 |
| | 成年女子 | 1 | 0 | 3 | 3 | 4 | 6 | 6 |
| | 小計 | 7 | 3 | 9 | 9 | 9 | 15 | 15 |
| 個人 | 成年男子 | 14 | 19 | 20 | 28 | 28 | 28 | 39 |
| | 成年女子 | 4 | 3 | 6 | 5 | 8 | 12 | 14 |
| | 小計 | 18 | 22 | 26 | 33 | 36 | 40 | 53 |
| 計 | | 25 | 25 | 35 | 42 | 45 | 55 | 68 |

【成年競技得点】

| 回 | | 第68回 (H25) | 第69回 (H26) | 第70回 (H27) | 第71回 (H28) | 第72回 (H29) | 第73回 (H30) | 第74回 (R1) |
|----------|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 団体 | 成年男子 | 59.5 | 51.0 | 67.0 | 104.0 | 92.0 | 151.5 | 174.0 |
| | 成年女子 | 3.0 | 0.0 | 94.0 | 55.0 | 59.5 | 138.0 | 136.5 |
| | 小計 | 62.5 | 51.0 | 161.0 | 159.0 | 151.5 | 289.5 | 310.5 |
| 個人 | 成年男子 | 66.5 | 83.5 | 96.0 | 132.0 | 125.0 | 101.5 | 161.0 |
| | 成年女子 | 20.0 | 10.0 | 31.0 | 25.5 | 33.0 | 45.0 | 63.5 |
| | 小計 | 86.5 | 93.5 | 127.0 | 157.5 | 158.0 | 146.5 | 224.5 |
| 計(参加点除く) | | 149.0 | 144.5 | 288.0 | 316.5 | 309.5 | 436.0 | 535.0 |

【少年入賞数】

| 回 | | 第68回 (H25) | 第69回 (H26) | 第70回 (H27) | 第71回 (H28) | 第72回 (H29) | 第73回 (H30) | 第74回 (R1) |
|----|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 団体 | 少年男子 | 4 | 2 | 2 | 3 | 6 | 1 | 5 |
| | 少年女子 | 3 | 5 | 4 | 2 | 3 | 3 | 4 |
| | 小計 | 7 | 7 | 6 | 5 | 9 | 4 | 9 |
| 個人 | 少年男子 | 15 | 21 | 17 | 16 | 14 | 21 | 27 |
| | 少年女子 | 4 | 2 | 4 | 3 | 2 | 3 | 2 |
| | 小計 | 19 | 23 | 21 | 19 | 16 | 24 | 29 |
| 計 | | 26 | 30 | 27 | 24 | 25 | 28 | 38 |

【少年競技得点】

| 回 | | 第68回 (H25) | 第69回 (H26) | 第70回 (H27) | 第71回 (H28) | 第72回 (H29) | 第73回 (H30) | 第74回 (R1) |
|----------|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 団体 | 少年男子 | 47.0 | 33.0 | 33.0 | 73.0 | 78.0 | 10.0 | 87.5 |
| | 少年女子 | 65.0 | 139.0 | 75.0 | 33.0 | 53.5 | 55.0 | 63.0 |
| | 小計 | 112.0 | 172.0 | 108.0 | 106.0 | 131.5 | 65.0 | 150.5 |
| 個人 | 少年男子 | 78.5 | 108.5 | 110.0 | 91.5 | 69.0 | 82.5 | 90.0 |
| | 少年女子 | 15.5 | 9.0 | 12.0 | 6.0 | 9.0 | 12.0 | 6.0 |
| | 小計 | 94.0 | 117.5 | 122.0 | 97.5 | 78.0 | 94.5 | 96.0 |
| 計(参加点除く) | | 206.0 | 289.5 | 230.0 | 203.5 | 209.5 | 159.5 | 246.5 |

11 特定地域づくり事業推進法の施行について

人口急減に直面する地域において、就労等を通じて地域社会の維持、活性化に寄与する人材の確保を支援する新たな法律が令和2年6月4日に施行されます。

1 法律名 地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律

2 施行日 令和2年6月4日（公布日 令和元年12月4日）

3 概要

(1) 目的

過疎地等の若者が都市部へ流出するのを防ぐとともに、移住者を増やすため、地域の若者や移住者を雇い、地元事業者へ派遣する事業協同組合の設立・運営を支援することを目的としています。

(2) 対象地域 人口急減地域

地域人口の急減に直面している地域が対象とされ、詳細は今後総務省より示されるガイドラインに示される予定ですが、過疎指定を受けている地域や過疎地域と同程度の人口減少が生じている地域が想定されています。

(3) 実施主体 特定地域づくり事業協同組合

事業者が中小企業等協同組合法に基づいて設立した事業協同組合が実施主体となります。

(4) 実施事業 特定地域づくり事業

人口急減地域において、特定地域づくり事業協同組合が職員を雇用し、季節ごとの労働需要等に応じてその職員を地域内の事業者新たに派遣する事業を実施します。

【想定される事業例】

特定地域づくり事業協同組合が、都会からの移住者や地域おこし協力隊のO・B・OGを正規職員として雇用し、夏はA旅館、秋はB農園、冬から春はC水産というように各事業者の年間の労働需要に応じて職員を新たに派遣する事業が想定されます。

(5) 財政支援 特定地域づくり事業推進交付金（国交付金 2年度予算5億円）

組合運営費（派遣職員人件費＋事務局運営費）の1/2を市町が財政支援し、その1/2が国交付金の対象となります。

【実質の負担割合：組合1/2、国1/4、市町1/4】（別紙参照）

(6) 都道府県の役割

特定地域づくり事業協同組合の設立認可、特定地域づくり事業計画の認定、組合運営に関する監督指導が都道府県の役割となります。

4 今後のスケジュール

3月～ 省令公布・ガイドライン・補助要綱等の発出

4月～ 地方向け説明会

6月 法律施行

組合設立希望調査

特定地域づくり事業協同組合制度（案）の概要

人口急減地域の課題

- ・ 事業者単位で見ると年間を通じた仕事がない
 - ・ 安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保できない
- ⇒ 人口流出の要因、UJターンの障害

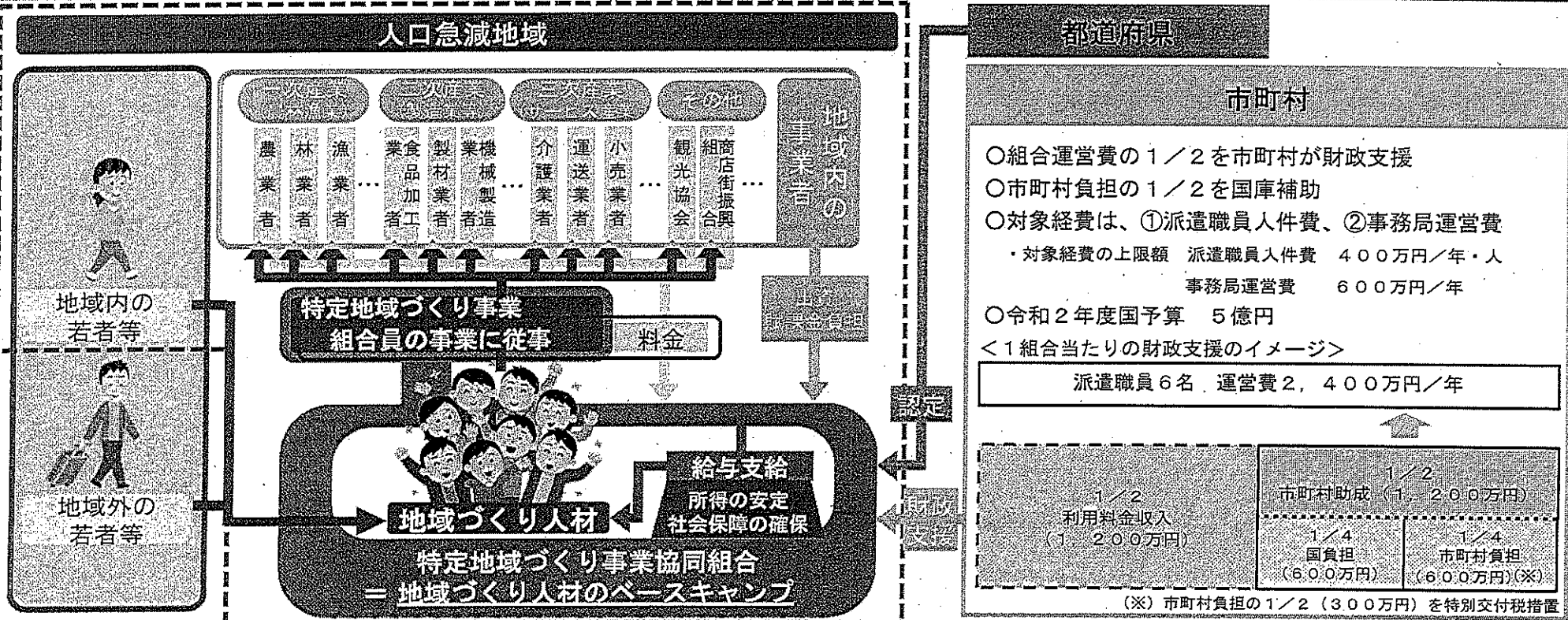
特定地域づくり事業協同組合制度

- ・ 地域全体の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出
 - ・ 組合で職員を雇用し事業者に派遣（安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保）
- ⇒ 地域の担い手を確保

制度概要

対象地域：人口急減地域（過疎法に基づく過疎地域及び過疎地域と同程度の人口減少が生じている地域）
 対象団体：中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合
 対象事業：マルチワーカー（季節毎の労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事）の派遣等
 認定手続：事業協同組合の申請に基づき、都道府県知事が認定（10年更新制）
 特例措置：労働者派遣法に基づく労働者派遣事業（無期雇用職員に限る）を許可ではなく、届出で実施することが可能
 財政支援：組合運営費の1/2を市町村が財政支援（市町村負担の1/2を国庫補助）
 根拠法：地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律〈令和2年6月4日施行〉

69



12 令和元年度南部地域の高校生を対象とした「地域への愛着や将来的な定住の意向に関するアンケート」調査結果について

1 調査の目的

南部地域は、若者世代の人口流出と高齢化が進行するなど地域の活力が低下し、集落の維持が難しくなっている地域もあります。

南部地域では、進学や就職を機に地域から転出する若者が多いことから、自分の進路を具体的に考える高校2年生を対象に、地域への愛着や将来的な定住の意向に関するアンケート調査を平成28年度から実施し、若者の定住促進に向けた施策の参考としています。

2 調査概要

| | |
|-------|--|
| 調査時期 | 令和元年11月～12月 |
| 調査対象校 | 南部地域に所在する全ての全日制及び定時制の高等学校17校並びに特別支援学校3校 |
| 調査対象者 | 2年生生徒全員2,628名（全数調査） |
| 有効回答数 | 2,443名（有効回答率93.0%） うち住所地が南部地域である2,049名について分析しました。 |

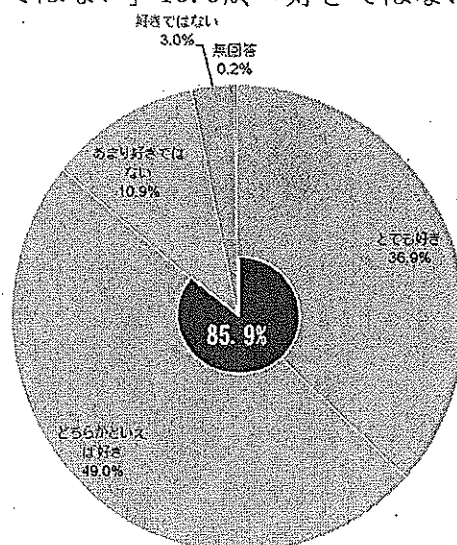
3 主な調査結果（速報）

地域への愛着は過去2年とほぼ同様の結果となりましたが、将来的な定住の意向では、いずれ地域に戻ってきたいという回答割合が低下しました。

（1）地域への愛着

【設問】自分の住んでいる地域のこと好きですか。

【回答】「とても好き」36.9%、「どちらかといえば好き」49.0%、計85.9%
「あまり好きではない」10.9%、「好きではない」3.0%、計13.9%



《「自分の住んでいる地域のこと好き」と回答した割合の推移》

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------|--------|--------|-------|
| 83.2% | 85.4% | 85.4% | 85.9% |

(2) 将来的な定住の意向

【設問】 現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか。

【回答】 「卒業後も地域に住み続けたい」 21.4%

「学生時代は都会に住みたいが就職時には戻ってきたい」 11.9%

「若いうちは都会に住みたいが結婚や子育てを機に戻ってきたい」

11.4%

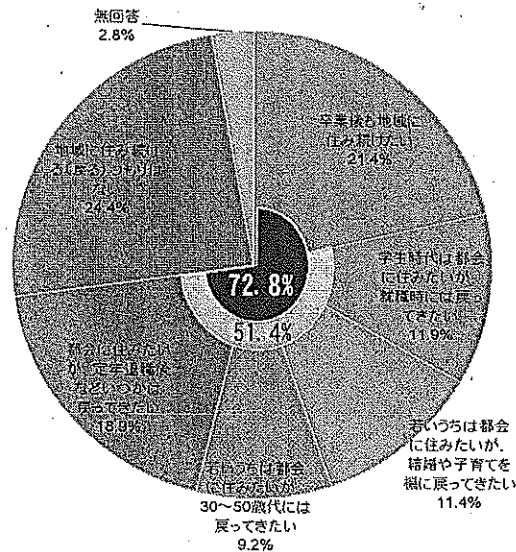
「若いうちは都会に住みたいが30～50歳代には戻ってきたい」 9.2%

「都会に住みたいが定年退職後などいつかは戻ってきたい」 18.9%

「地域に住み続ける（戻る）つもりはない」 24.4%

「無回答」 2.8%

72.8%



《「いずれ地域に戻ってきたい」と回答した割合の推移》

| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|----------|----------|----------|-------|
| 72.7% | 74.2% | 77.7% | 72.8% |

- ・ 前年度に最も回答が多かった「卒業後も地域に住み続けたい」が27.0%から21.4%に5.6ポイント低下するとともに「地域に住み続ける（戻る）つもりはない」が19.7%から24.4%と4.7ポイント増加し、最多回答が入れ替わりました。
- ・ 上記の変動要因として、伊勢市、志摩市、鳥羽市、熊野市など生徒数の多い市町の回答結果が大きく影響しています。
- ・ 転出する理由については「希望する就職先、進学先がない」「都会での生活に憧れがある」「生活、交通が不便」と回答した割合が過去3年と比べるといずれも高くなっています。

4 今後の方針について

南部地域だけでなく三重県は、人口流出が拡大しており、特に若者の県内定着は、重要な課題となっています。このアンケート結果について、さらに分析を進めるとともに、他部局にも共有し、若者の県内定着に向けた取組の参考とします。

令和元年度

南部地域の高校生を対象とした 「地域への愛着や将来的な定住の意向に関するアンケート」 調査結果

将来的に地域に住み続けたい又は戻りたいと考えている高校生の割合:72.8%

三重県南部地域活性化局

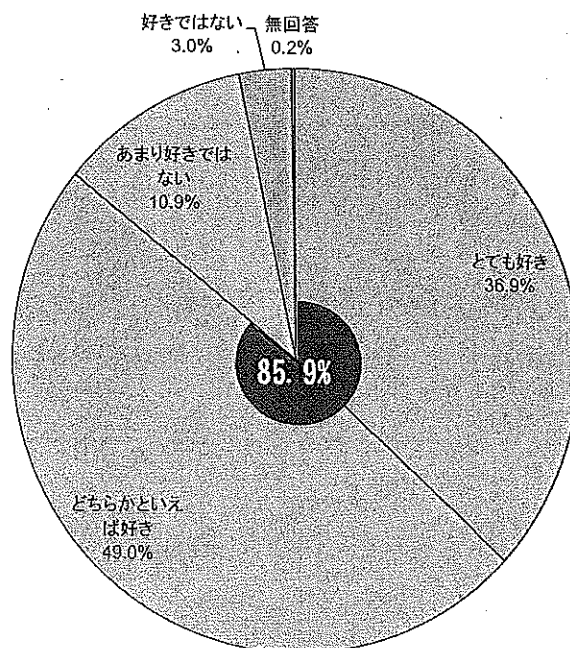
調査の概要

| | |
|-------|---|
| 調査時期 | 令和元年11月～12月 |
| 調査対象校 | 南部地域に所在する全ての全日制及び定時制の高等学校17校並びに特別支援学校3校 |
| 調査対象者 | 2年生生徒全員2,628名(全数調査) |
| 有効回答数 | 2,443名(有効回答率93.0%) |
| | ※うち住所地が南部地域である2,049名について分析しました |

自分の住んでいる地域のことが好きですか

- ・「とても好き」(36.9%)と「どちらかといえば好き」(49.0%)を合わせて、85.9%が
- ・自分が住んでいる地域のことを好きと回答しています。

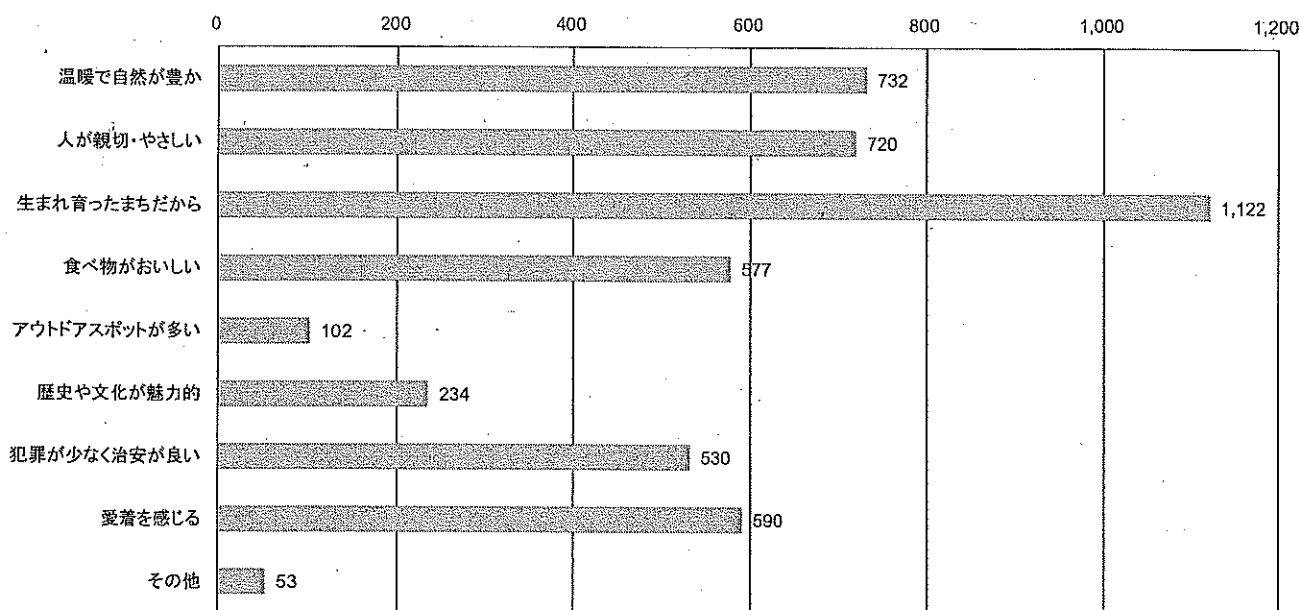
| 地域への愛着度 | 人数 |
|------------|-------|
| とても好き | 757 |
| どちらかといえば好き | 1,003 |
| あまり好きではない | 224 |
| 好きではない | 61 |
| 無回答 | 4 |
| 総計 | 2,049 |



※端数処理の関係により各項目の合計値と表記は一致しないことがあります(以下同じ)

住んでいる地域が好きな理由を教えてください

- 自分の住んでいる地域のことが「とても好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒に対して、その理由を尋ねたところ、「生まれ育ったまちだから」が最も多く、次いで、「温暖で自然が豊か」、「人が親切・やさしい」が多くなっています。

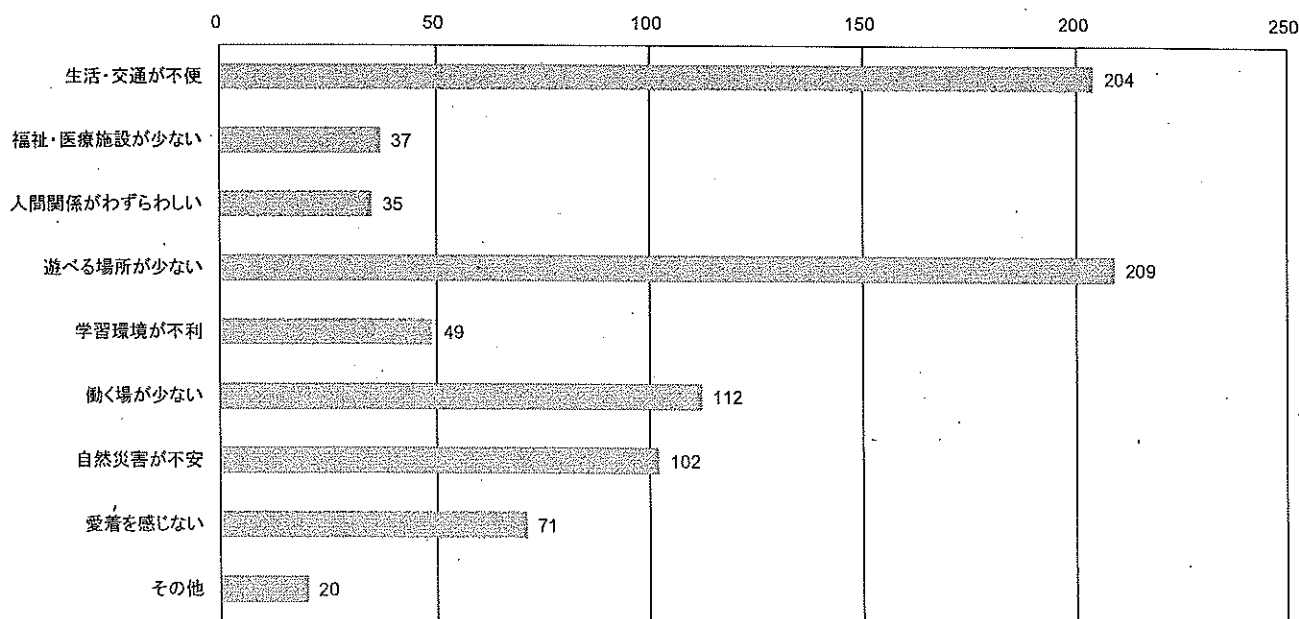


◆ 数字は件数。複数選択可。

◆ 「その他」・・・行事が楽しい、静か、星がきれいに見える、安心する、大好きな友達がいる、地域の人と助け合える、など

住んでいる地域が好きではない理由を教えてください

- 自分の住んでいる地域のことが「あまり好きではない」「好きではない」と答えた生徒に対して、その理由を尋ねたところ、「遊べる場所が少ない」と「生活・交通が不便」が他の理由に比べて圧倒的に多くなっています。



◆ 数字は件数。複数選択可。

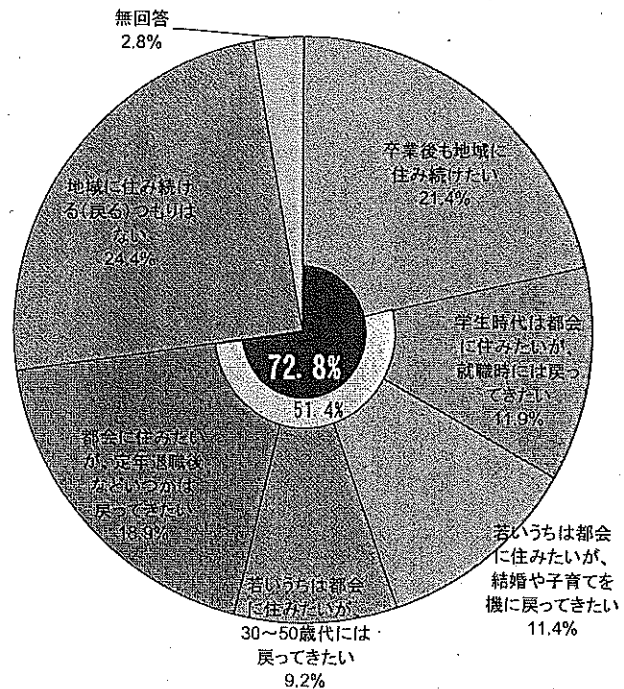
◆ 「その他」・・・田舎すぎる、治安が悪い、何もない、店が少ない、親が好きじゃない、市町村合併で市になったから、など

現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか

- ・「地域に住み続ける(戻る)つもりはない」が最も多く24.4%となっています。
- ・一方、「卒業後も地域に住み続けたい」(21.4%)、「都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい」(18.9%)など、72.8%が将来的に南部地域で住みたいと考えています。

| 定住の意思 | 人数 |
|-------------------------------|-------|
| 卒業後も地域に住み続けたい | 438 |
| 学生時代は都会に住みたいが、就職時には戻ってきたい | 243 |
| 若いうちは都会に住みたいが、結婚や子育てを機に戻ってきたい | 234 |
| 若いうちは都会に住みたいが、30~50歳代には戻ってきたい | 188 |
| 都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい | 388 |
| 地域に住み続ける(戻る)つもりはない | 500 |
| 無回答 | 58 |
| 総計 | 2,049 |

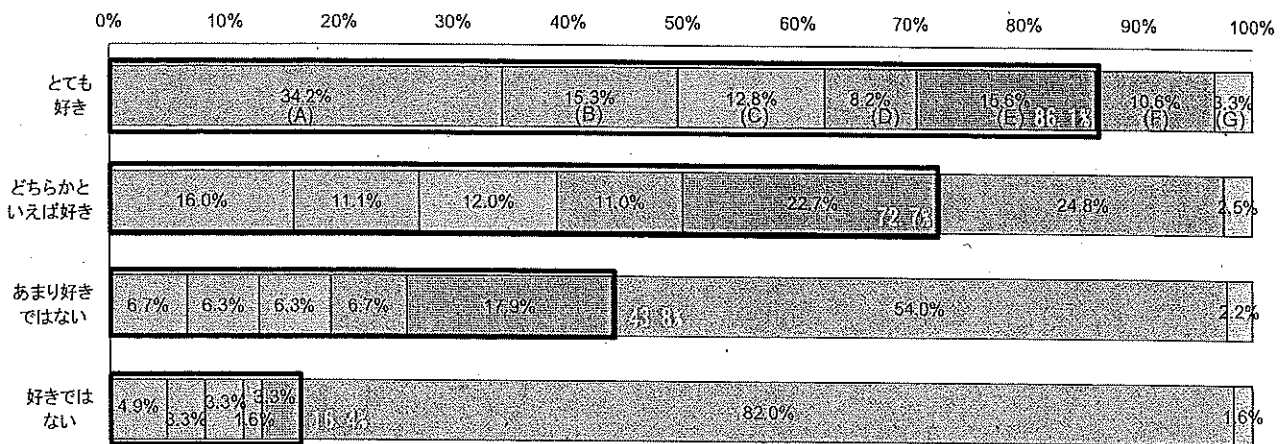
いったんは都会に住みたいがいずれは地域に戻ってきたい



現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか (地域への愛着度との関係性)

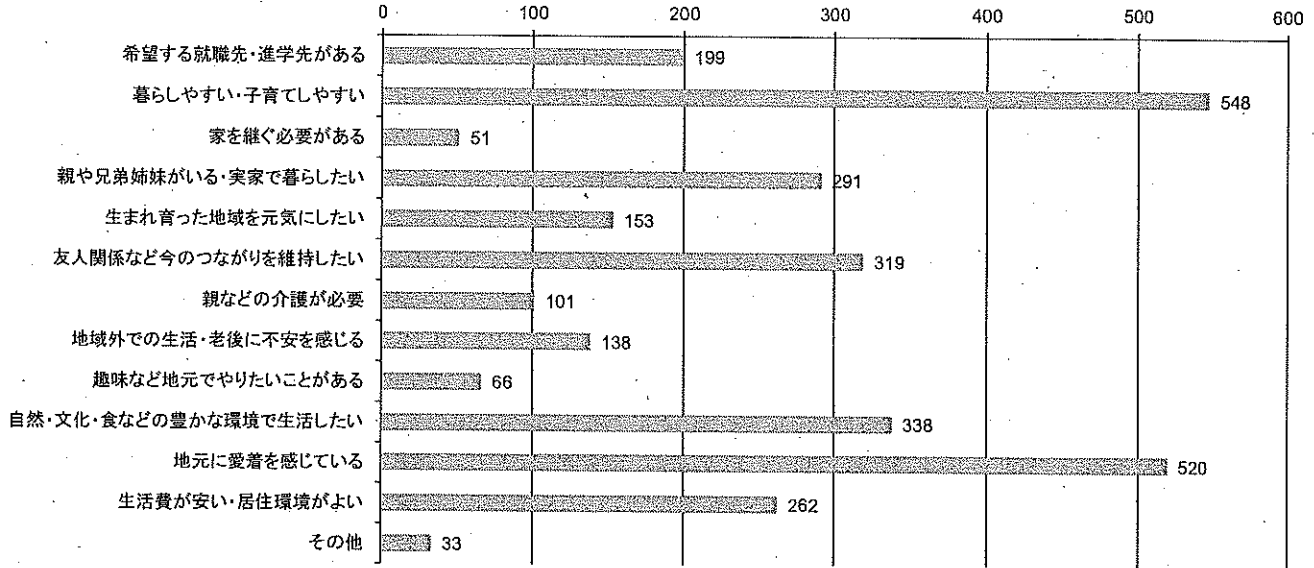
- ・将来的に地域に住みたい・戻ってきたいと考えている割合((A)~(E))は、自分の住んでいる地域が「とても好き」と回答した生徒が86.1%と最も高くなっている一方、「好きではない」と回答した生徒は16.4%に留まっています。
- ・このことから、地域のことが好きであることと将来的に住みたい・戻りたいと思う気持ちには強い相関関係があると考えられます。

- 卒業後も地域に住み続けたい(A)
- 学生時代は都会に住みたいが、就職時には戻ってきたい(B)
- 若いうちは都会に住みたいが、結婚や子育てを機に戻ってきたい(C)
- 若いうちは都会に住みたいが、30~50歳代には戻ってきたい(D)
- 都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい(E)
- 地域に住み続ける(戻る)つもりはない(F)
- 無回答(G)



住み続けたい又は将来的に戻ってきたい理由を教えてください

- ・ 地域に住み続けたい又はいつかは戻ってきたいと答えた生徒に対し、その理由を尋ねたところ、「暮らしやすい・子育てしやすい」が最も多く、次いで「地元へ愛着を感じている」となっています。
- ・ 「友人関係など今のつながりを維持したい」「親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい」といった人間関係を重視する回答も多くなっています。

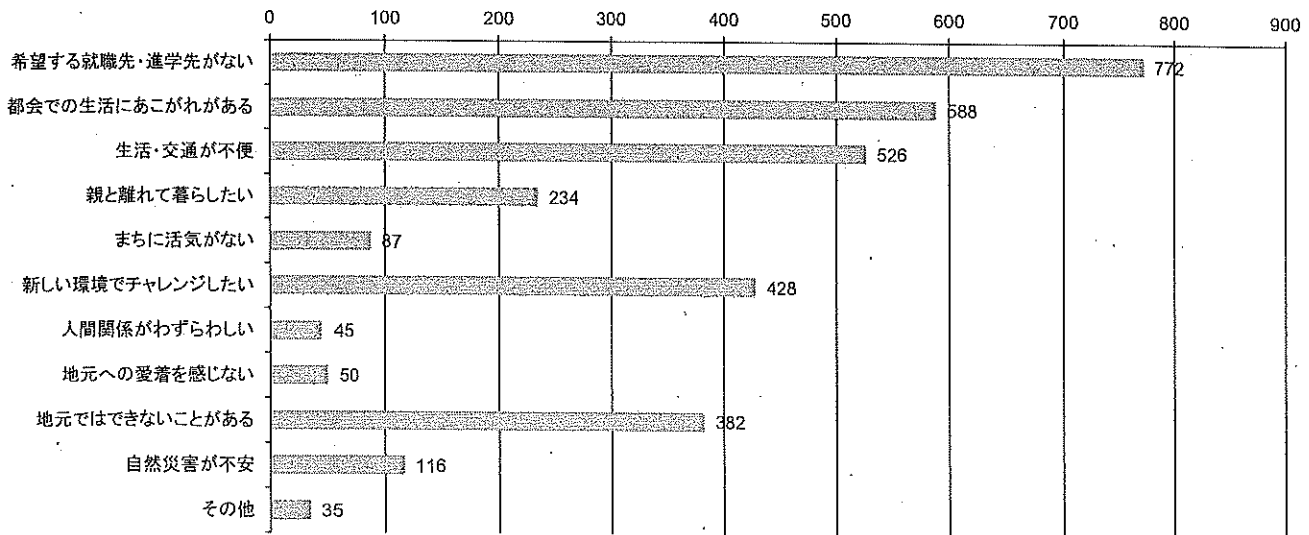


◆ 数字は件数。複数選択可。

◆ 「その他」・・・起業したい、のんびり暮らしたい、病気で親元を離れられない、都会があまり好きじゃない、など

今の地域から転出する理由を教えてください

- ・ いったんは都会で暮らしたい又は地域に住み続ける(戻る)つもりはないと答えた生徒に対し、その理由を尋ねたところ、「希望する就職先・進学先がない」が最も多く、次いで「都会での生活にあこがれがある」、「生活・交通が不便」となっています。
- ・ 「まちに活気がない」、「人間関係がわずらわしい」「地元への愛着を感じない」、といった地域へのマイナス面よりも、「新しい環境でチャレンジしたい」、「地元ではできないことがある」など都会での生活への期待感の方が主な理由となっています。



◆ 数字は件数。複数選択可。

◆ 「その他」・・・地域に飽きた、都会の方が色々な人と触れ合える、一人暮らしをしてみたい、両親の実家が他県にあるから、など

13 熊野古道世界遺産登録 15 周年の報告について

熊野古道世界遺産登録 15 周年となる今年度は、15 周年を盛り上げるための記念事業を実施するとともに、3つの基本方針、(1) インバウンドを含む国内外からの誘客、(2) 子ども・若者など次世代育成による伝統と文化の担い手づくり、(3) 住む人にも訪れる人にも魅力的で持続可能な観光地域づくりに基づき取組を展開しました。

また、昨年度から産業分野で交流を進め、世界遺産の巡礼道を有するという共通点を持つ(4) スペイン・バスク自治州との連携を進めていきます。

1 今年度の取組

<熊野古道世界遺産登録 15 周年記念事業>

- ① キックオフイベント (7月7日)
熊野古道センターにおいて、保全の功労者表彰、パネルディスカッション等を実施 参加者：約 500 人
- ② 熊野古道ウィーク (10月26日から11月17日)
市町や関係団体がシンポジウムやウォーキング等を集中的に開催
- ③ フィナーレイベント「KUMANO KODO Festa」(12月21日)
熊野市文化交流センターにおいて、小中高校生が地域の魅力を発見する活動の成果発表等を実施 参加者：約 200 人

(1) インバウンドを含む国内外からの誘客

- ① 世界遺産登録 15 周年記念シンポジウム (10月23日)
三重、和歌山、奈良の紀伊半島三県が連携し、首都圏の銀座フェニックスプラザにおいて、熊野古道の魅力をPRするシンポジウムとして、基調講演、記念トークセッションを実施 参加者：180 人 (旅行事業者、メディア、その他事業者など)
- ② インバウンド向け情報発信
中部経済連合会等と連携し、英語で観光ルートを紹介する記事、動画を情報発信

(2) 子ども・若者など次世代育成による伝統と文化の担い手づくり

- ① 小中学生を対象とする取組
世界遺産塾として「紀州鉾山と入鹿鍛冶」等3回開催 参加者：66 人
- ② 高校生自らの企画による取組
尾鷲高校生 県内 ALT を馬越峠に案内 参加者：19 人
木本高校生 松本峠等を巡るツアー (5 コース) を開催 参加者：84 人 (県外含む)

※ 小中高校生の参加者たちは、フィナーレイベントでそれぞれの取組の成果を発表

(3) 住む人にも訪れる人にも魅力的で持続可能な観光地域づくり

① 熊野古道世界遺産登録 15 周年事業実行委員会の体制強化

東紀州 5 市町から南部地域等 15 市町に地域を拡大。行政のほか、観光関係団体、商工関係団体、農林水産関係団体、旅館業組合、観光施設、食品関連企業、NPO など民間企業・団体等 206 団体が参加

② サポーターズクラブの活動

5/26 女鬼峠 16 人、雨天により 4 回中止

③ 秋の熊野古道伊勢路一斉保全活動

熊野古道ウィーク前の 10 月 19 日に馬越峠など 12 カ所で 100 人が参加する初めての一斉保全活動を行う予定だったが、警報発令により中止

(4) スペイン・バスク自治州との連携

① 「世界遺産の巡礼道を活かした協力・連携に関する覚書」の締結

巡礼道の保全・振興に関わる関係者の交流や互いの巡礼道の魅力発信により、「熊野古道伊勢路」の保全と活用の取組を一層充実させていくことを目的に、スペイン・バスク自治州との間で覚書を締結

期日：令和元年 11 月 7 日

場所：バスク自治州ベアサイン市 イガルツァ歴史的建造物群

② 「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路・バスクの道」写真展

期日：(ア) 記念講演・・・3 月 15 日(日) 13 時 30 分～(予定)

NPO 法人日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会の森岡朋子理事による講演会

(イ) 写真展・・・3 月 15 日から 4 月 5 日まで(予定)

場所：熊野古道センター

2 成果と課題

(1) 成果

- ・15 周年事業実行委員会には東紀州地域内外から多様な団体・企業の参加があり、従来の枠組を越えたネットワークを新たに構築できた。
- ・キックオフイベントを通じて熊野古道の価値を再認識するとともに、保全の重要性が再認識できた。
- ・次世代を担う小中高校生が、東紀州地域の価値や魅力を発見し伝える取組により、郷土への誇りと愛着心を育むきっかけになった。高校生の企画に地域が協力し一体となって実施した。
- ・バスク自治州との間で覚書を締結し、世界遺産の巡礼道を生かした相互の情報発信と交流に取り組むこととした。

(2) 課題

- ・熊野古道来訪者数の伸び悩みと和歌山県側とのインバウンド受入環境の格差解消
- ・20 周年に向けて持続可能な観光地域づくりを進めるため、15 周年事業実行委員会のネットワークの生かし方と次世代の育成
- ・保全活動の新たな担い手づくり
- ・スペイン・バスク自治州との連携による民間交流の促進

3 来年度の展開

(1) 観光振興への注力

- ・地域の稼ぐ力を高め持続可能な観光地域づくりを進めるため、4月から東紀州地域振興公社を一般社団法人として観光振興の体制を強化
- ・和歌山県、田辺市熊野ツーリズムビューローとの連携強化によるインバウンド誘客の促進。例えば、旅行ルートの作成システム導入によるアクセスの利便性向上など、外国人が県境を越えて東紀州地域を訪れやすくなる環境づくりを実施
- ・マリオットホテル（御浜町）やVISON（多気町）のオープンの機会を捉え、南部地域活性化基金を活用するなど東紀州地域の枠を越えた施策を展開

(2) 次世代育成・ネットワークづくり

- ・20周年に向け、熊野古道や地域の価値と魅力を継承する人づくりを継続（小中高校生を対象）
- ・15周年で構築した実行委員会ネットワーク（206団体）を活用した地域の取組への参加の呼びかけ
- ・協力企業の拡大などによる保全活動の新たな担い手づくり

(3) バスク自治州との協力・連携の深化

- ・相互の道の価値の向上を目的に、特に保全団体や若者など民間同士の交流を促進

(4) 紀北・紀南交流拠点施設の活用促進

- ・4月1日から有料化予定の熊野古道センターの大ホール、小ホールの活用促進
- ・月間の客室稼働率が80%前後で推移するなど良好な経営状況が続く熊野倶楽部と地元市町との地域協働の継続

14 審議会等の審議状況について
(令和元年11月25日～令和2年2月16日)

| | |
|-----------|--|
| 1 審議会等の名称 | 三重県土地利用審査会 |
| 2 開催年月日 | 令和2年1月28日 |
| 3 委員 | 会長 浅野 純一郎 委員 駒田 真人 他 5名 |
| 4 諮問事項 | なし |
| 5 調査審議結果 | 委員改選に伴う会長・会長職務代理者の選出並びに委員への三重県土地利用審査会の概要及び地価動向の説明を行った。 |
| 6 備考 | |